

香川県立保健医療大学

年報

2019

目 次

| | |
|------------------------|-------|
| 1. 名称・沿革等 | 1～2 |
| (1) 名称 | |
| (2) 学部・専攻科・研究科 | |
| (3) 所在地 | |
| (4) 沿革 | |
| 2. 組織図 | 3 |
| 3. 基本理念・教育目標・3つのポリシー | 4～9 |
| (1) 基本理念 | |
| (2) 保健医療学部の教育目標 | |
| (3) 看護学科の3つのポリシー | |
| (4) 臨床検査学科の3つのポリシー | |
| (5) 助産学専攻科の3つのポリシー | |
| (6) 保健医療学研究科の基本理念・教育目的 | |
| 4. 教育内容 | 10～19 |
| (1) 保健医療学部 | |
| ① 教養教育 | |
| ② 看護学科 | |
| ③ 臨床検査学科 | |
| (2) 助産学専攻科 | |
| (3) 保健医療学研究科 | |
| (4) 実習施設 | |
| (5) 学年暦 | |
| 5. 教職員の状況 | 20～24 |
| (1) 役職員 | |
| (2) 教職員数 | |
| (3) 教員の研究内容 | |
| (4) 教員の研究業績 | |
| 6. 学生の状況 | 25～32 |
| (1) 入学者選抜試験及び入学者の状況 | |
| (2) 学部・専攻科・大学院在学生の状況 | |
| (3) 出身県別学部学生数 | |
| (4) 平成31年3月卒業生・修了生の進路 | |
| (5) 国家試験の合格状況 | |
| (6) 奨学生の状況 | |
| (7) 学生相談 | |
| (8) 課外活動 | |
| ① サークル活動 | |
| ② ボランティア活動 | |
| ③ その他 | |
| 7. 図書館の状況 | 33 |
| (1) 運営状況 | |
| (2) 図書館資料の整備状況 | |
| (3) 利用状況 | |
| 8. 地域との連携・広報・情報公開 | 34～35 |
| (1) いきいき健康広場 | |
| (2) 公開講座 | |
| (3) 施設開放 | |
| (4) オープンキャンパス | |
| (5) 高校等への出張講座 | |
| (6) 委員等への就任及び講師等の派遣 | |
| (7) 情報公開 | |
| 9. 財務状況 | 36 |
| (1) 令和元年度 歳入歳出予算 | |
| (2) 外部資金の受け入れ状況 | |
| 10. 施設の状況 | 37～38 |
| (1) 敷地面積 | |
| (2) 建物 | |
| (3) 建物配置図 | |

| | |
|------------|-------|
| 11. 研究活動 | 39~51 |
| 12. 管理運営 | 52~70 |
| (1) 教授会 | |
| (2) 研究科委員会 | |
| (3) 学内委員会 | |

1 名称・沿革等

(1) 名称

香川県立保健医療大学（平成 16 年 4 月開学）

(2) 学部・専攻科・研究科

【保健医療学部】

○看護学科

入学定員：70 人

卒業後に取得できる資格：看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格（選択制）

○臨床検査学科

入学定員：20 人

卒業後に取得できる資格：臨床検査技師国家試験受験資格

在学中に取得できる資格：健康食品管理士認定試験受験資格

（所定科目の履修者）

遺伝子分析科学認定士（初級）認定試験受験資格

食品衛生管理者・食品衛生監視責任用資格

（平成 25 年度 4 月以降の入学者）

【助産学専攻科】

入学定員：10 人

卒業後に取得できる資格：助産師国家試験受験資格

受胎調節実地指導員（看護師資格を有する者）

新生児蘇生法講習会修了認定資格（選択制）

【保健医療学研究科】

○看護学専攻（博士前期課程）

入学定員：5 人

○看護学専攻（博士後期課程）

入学定員：2 人

○臨床検査学専攻（博士前期課程）

入学定員：3 人

○臨床検査学専攻（博士後期課程）

入学定員：2 人

(3) 所在地

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

(4) 沿革

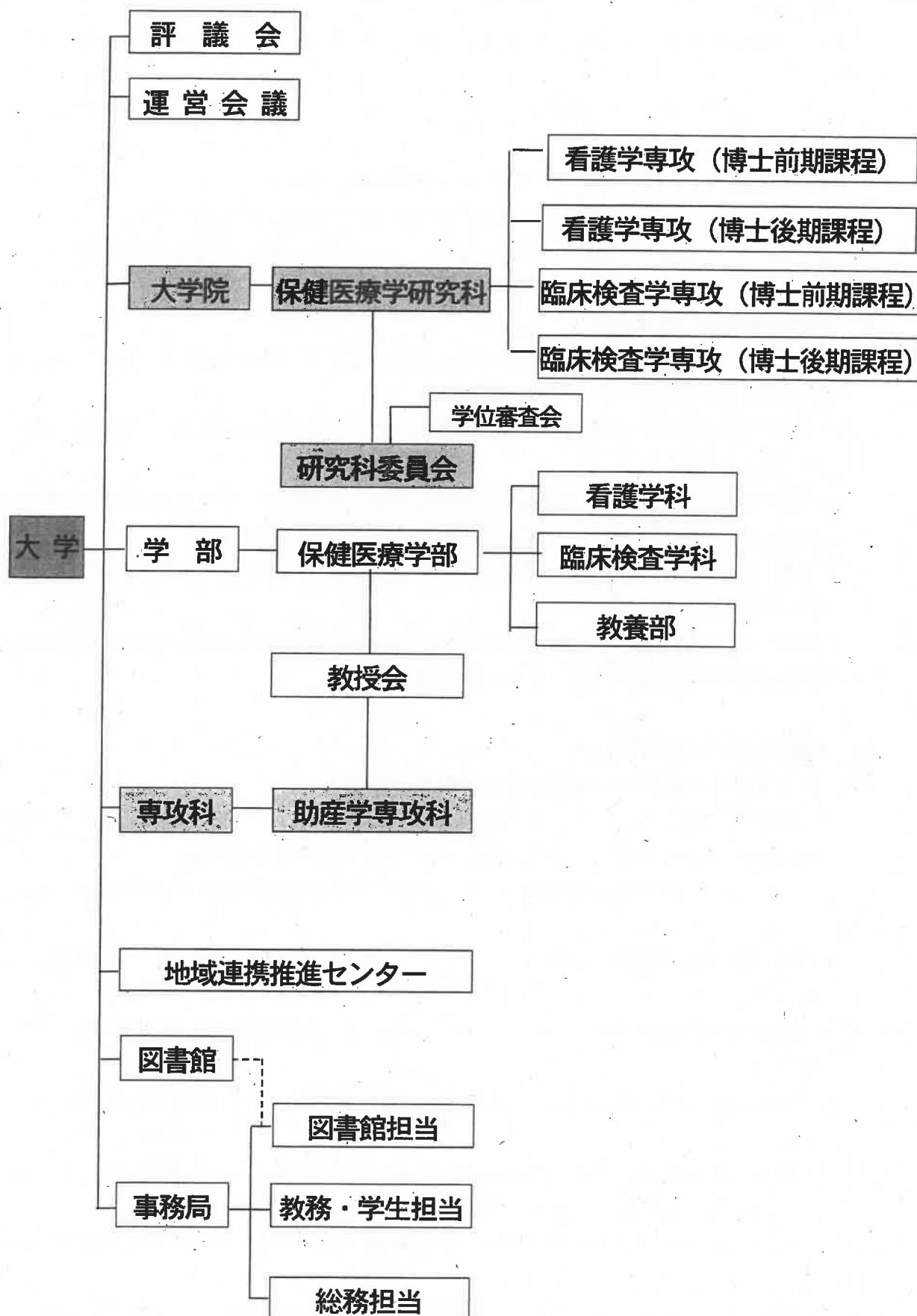
①香川県立医療短期大学

| | |
|------------------|--|
| 平成 3年 3月 | 「香川県 21世紀長期構想」事業計画で医療従事者の教育機関整備の検討を記述 |
| 平成 7年 4月 10月 | 県立医療短期大学設立準備室設置 県立医療短期大学整備基本構想策定協議会設置 |
| 平成 8年 2月 12月 | 県立医療短期大学整備基本構想策定 牟礼町原地区に設置決定 |
| 平成 9年 10月 12月 | 建築工事起工式 県立医療短期大学設置準備委員会設置 |
| 平成 10年 4月 12月 | 文部大臣へ県立医療短期大学設置認可申請 文部大臣設置認可 |
| 平成 11年 4月 | 県立医療短期大学設置条例公布 |
| 平成 14年 4月 | 県立医療短期大学開学（第1期生入学） |
| 平成 19年 3月 | 県立医療短期大学専攻科設置 県立医療短期大学閉学 |

②香川県立保健医療大学

| | |
|-------------------------|--|
| 平成 12年 6月 | 香川県新世紀基本構想で県立医療短期大学の4年制大学への移行について検討を記述 |
| 平成 13年 5月 11月 | 香川県立医療短期大学4年制化検討委員会設置 香川県立医療短期大学4年制化検討委員会提言 |
| 平成 14年 5月 11月 | 大学設置基本構想策定委員会設置 県立保健医療大学設置基本構想策定 |
| 平成 15年 4月 11月 12月 | 県立大学設置準備委員会設置 文部科学大臣に県立保健医療大学設置認可申請 文部科学大臣設置認可 |
| 平成 16年 4月 | 香川県立保健医療大学設置条例公布 |
| 平成 20年 3月 | 県立保健医療大学開学（第1期生入学） |
| 平成 21年 4月 | 県立保健医療大学大学院保健医療学研究科（修士課程）設置 保健医療学部看護学科入学定員を50名から70名に増員 |
| 平成 23年 3月 4月 | 大学院保健医療学研究科第1期生修了 大学認証評価機関から「大学基準に適合している」との認定を受ける |
| 平成 24年 4月 | 地域連携推進センターを設置 助産学専攻科を設置 |
| 平成 25年 4月 | 看護学科学部教育に保健師選択制導入 |
| 平成 29年 4月 | 看護学科3年次編入学制度の廃止 大学院保健医療学研究科に専門看護師コース（精神看護）を設置 大学院保健医療学研究科保健医療学専攻（修士課程）の学生募集停止 |
| 平成 31年 4月 | 大学院保健医療学研究科に看護学専攻（修士課程）、臨床検査学専攻（博士前期課程）及び臨床検査学専攻（博士後期課程）を設置 大学院保健医療学研究科に看護学専攻（博士前期課程）及び看護学専攻（博士後期課程）を設置 |

2 組織図



3 基本理念・教育目標・3つのポリシー

(1) 基本理念

香川県立保健医療大学は、生命の尊厳を畏敬する深い人間愛を基盤として、教育、研究、地域貢献を推進します。

生涯にわたる知の探究と自己の能力を開発していく力を有し、地域の保健医療をリードする人材を育成します。

国際的視野を有し、保健医療の発展に寄与する先駆的研究を進めます。

地域のニーズに応える保健医療に関する情報発信や教育研究拠点として活動します。

これらを通じ、「県民に一目置かれる大学」として、人々の健康で心豊かな未来を拓きます。

(2) 保健医療学部の教育目標

- 1 高い倫理観と教養を備えるとともに、深い人間愛に基づいて生命の尊厳を重んじることができる人間性豊かな人材を育成する。
- 2 看護学・臨床検査学に関する専門的知識・技術に基づいた総合的判断力を備え、実践することができる人材を育成する。
- 3 科学的思考力に基づいた豊かな創造性と探究心を持ち、生涯にわたり自らの能力の向上に努め、社会環境の変化や医療の高度化・多様化に適切に対応できる人材を育成する。
- 4 保健・医療・福祉における他の専門職と連携協働して、自らの役割と社会的使命を果たすことができる人材を育成する。
- 5 地域や国際社会の特性や問題を広い視野で理解し、多様な保健・医療・福祉の課題に適切に対応し、保健医療の向上に主体的に貢献できる人材を育成する。

(3) 看護学科の3つのポリシー

① ディプロマ・ポリシー(卒業の認定に関する方針)

看護学科では、以下に示された能力を卒業までに修得することを重視して成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認め、学士(看護学)の学位を授与する。

- 1 一人ひとりの人間を総合的に理解し、互いに成長し合える関係形成ができる基礎的能力を身に付けている。
- 2 人の尊厳と権利を擁護する看護について探究し、倫理的判断に基づいて行動できる基礎的能力を身に付けている。
- 3 看護の対象と状況を的確にアセスメントし、根拠に基づく看護が実践できる基礎的能力を身に付けている。
- 4 看護の実践・研究・教育の場で、将来、論理的に課題を探究し対応できる基礎的能力を身に付けている。
- 5 看護の対象を取り巻く保健・医療・福祉チーム員の役割を理解し、人々と連携協働しリーダーシップが発揮できる基礎的能力を身に付けている。
- 6 常に変化する社会に关心を寄せ、地域における看護の課題を探究し、新たな看護を創造できる基礎的能力を身に付けている。
- 7 看護を学ぶ自分と真摯に向き合い、看護専門職として誇りと責任をもって実践し成長し続ける基

基礎的能力を身に付けています。

② カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)

看護学科では、ディプロマ・ポリシーの実現を目指して、以下の方針(考え方)でカリキュラムを編成する。

進級に関しては、各学年で定められた単位を修得する必要がある「進級制」を採用する。

1 看護学の学修が、基礎から応用および専門に向けて、段階的に積み上がるよう科目編成とともに、看護学周辺領域の学修が、看護学の学修に関連づけられるように科目を設定し配置する。

全科目は、<基礎科目群>と<看護専門科目群>に大きく区分する。

<基礎科目群>は、「自然」「人間」「社会」「情報」「外国語」「健康」に区分する。

<看護専門科目群>は、「看護学総論」「看護技術論」「看護過程論」「健康レベル別看護論」「発達段階別看護論」「メンタルヘルス看護論」「地域・在宅看護論」「看護学発展論」「看護学実習」「看護ゼミナール・看護研究」「公衆衛生看護論」に区分する。

2 看護実践能力が4年間で「基礎一応用一統合」と着実に獲得できるように看護学実習を配置する。

1年次前期から「看護学導入実習」(1週間)によって看護を学ぶ動機づけを図り、2年次修了までに看護実践能力の基礎形成が確実になるように「看護技術論実習」(2週間)と「看護過程論実習」(4週間)を配置する。

3年次は、対象と場の特性に応じて展開できる看護実践能力に発展させるために「発達段階別看護論実習」(母性、小児、老年を各2週間)と、「メンタルヘルス看護論実習」(2週間)を配置するとともに、各実習で「人の尊厳を擁護する看護」が探究できるような学修を探り入れる。

4年次は、これまでに獲得してきた知識・技術と経験を「在宅看護学実習」(2週間)「健康レベル別看護論実習」(3週間)「看護学総合実習」(3週間)に統合させる。

3 地域貢献への志向性を培うために、1年次から、地域包括ケアと看護の役割拡大への関心及び理解が段階的に深まるよう科目設定を行い、3年次以降に、「連携協働する能力」と「地域の看護を創造する能力」に発展させる。

さらに、2年次後期から自己のキャリアについて学修し、3年次および4年次には、学生個人の自己課題や卒業後の進路に基づいて学修内容が選択できるように「看護学発展論」の中に選択科目を設定する。

4 学生の自律性と創造性が發揮できるように、自己学修、グループ討議、発表会など多様な学修形態を探り入れるとともに、個人およびグループによる学修時間が確保できるように科目時間数設定と時間割編成を行う。

また、1年次「看護ゼミナールⅠ」で課題探求能力の基礎作りを行い、3年次「看護ゼミナールⅡ」と、4年次「看護研究」の課題探求能力の発揮につなげるようにする。

③ アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)

- 1 科学的思考力を発展させる基礎学力を有している人
- 2 人間に関心があり、人との関わりに喜びを感じる人
- 3 状況判断ができ主体的に行動できる人
- 4 地域の看護実践の発展に貢献したい人

(4) 臨床検査学科の3つのポリシー

① ディプロマ・ポリシー(卒業の認定に関する方針)

臨床検査学科では、以下に示された能力を卒業までに修得することを重視して成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認め、学士(臨床検査学)の学位を授与する。

- 1 豊かな人間性と高い倫理観を身に付けている。
- 2 臨床検査に必要な専門的な知識・技術と実践能力を身に付けている。
- 3 臨床検査学発展のために、自らの能力の向上に努め、データ管理力や科学的思考力を用いて研究できる基礎的能力を身に付けている。
- 4 国際感覚を備え、臨床検査を通して、地域社会に広く貢献できる能力を身に付けている。
- 5 医療・環境・食品・保健分野などで、他職種と連携しながら、幅広く活躍できる能力を身に付けている。

② カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)

臨床検査学科では、「教養教育科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」の3つの柱で構成し、豊かな教養と科学的思考に基づいた知識・技術及び総合的実践能力が修得できるように科目配置する。

進級に関しては、各学年で定められた単位を修得する必要がある「進級制」を採用する。

- 1 「教養教育科目」は、豊かな人間性と教養を培い、情報化、国際化など時代の変化に的確に対応できる能力を培う科目で構成する。

特に検査データ管理に必要な「情報科学Ⅰ・Ⅱ・演習」は必修とし、知識、応用、実践能力を高めるように指導し、演習課題で成果を評価する。

さらに「英語Ⅰ・Ⅱ」を必修とし、生命や健康に関するロールプレイやグループワークの課題から、医学英語の実用表現を学び、討議内容により評価する。

- 2 「専門基礎科目」は、健康、疾病、病態を広く理解するため、人体の構造と機能を系統的に理解し、臨床検査についての専門知識、技術、医療チームとしての役割、他職種との連携を学ぶ目的で構成する。

専門科目に繋がる基礎となる科目は、ほとんどが定期試験により評価する。

さらに、国際的視野を広げるために、「国際保健論」を設け、他職種との連携のために、「組織論」と「地域チーム医療論」を設ける。これらの科目は、グループ討議、グループワーク、課題発表により評価する。

- 3 「専門科目」は、臨床検査学主要科目の講義、学内実習を中心に、検査結果を総合的・多角的に判断分析、管理運営する基礎能力及び検査技術の修得を目的とし、グループ討議、課題学習、レポート提出及び定期試験で評価する。

さらに、臨地実習前には、実習に必要な知識、実技、接遇能力の確認、補填を行い、一定レベル以上の能力獲得評価を行う。

「臨地実習」は、臨地実習ガイドラインをもとにした実習施設とのプログラム確認により、総合的実践能力を高めるように編成する。

「臨地実習」の成果は、実習施設の教科ごとの責任者の評価と学内での最終試験により総合的に評価する。

医療の高度化や社会環境の変化に対応すべく、「検診検査学」、「救急医療概論」、「生殖補助医療技術論」、「医療経済学」、「リスクマネージメント」、「健康食品学」などの科目についても、履修可能な体制をとっている。

さらに、所定科目履修者は、在学中に、健康食品管理士、遺伝子分析科学認定士及び食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格取得が可能となる体制をとっている。

「卒業研究」は、少人数グループ制で実施することで、科学的思考力、データ管理力を高めるような指導を行い、抄録提出と学内発表等から評価する。

③ アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)

- 1 論理的思考に必要な基礎学力を有している人
- 2 責任感と協調性があり、主体的に行動できる人
- 3 知的好奇心が旺盛で、科学的な観察力を持つ人
- 4 臨床検査技術を基盤に、地域の多様な分野で活躍したい人

(5) 助産学専攻科の3つのポリシー

① ディプロマ・ポリシー(卒業の認定に関する方針)

助産学専攻科では、以下に示された能力を修了時までに修得することを重視して成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認める。

- 1 女性の一生における性と生殖に関する健康課題に対して支援するためのウイメンズヘルスケア能力を身に付けている。
- 2 妊産婦と新生児に対して安全・安心な助産ケアを提供でき、育児が健全に行えるように支援するためのマタニティケア能力を身に付けている。
- 3 助産師としての役割や自身の行動に責任を果たす能力、豊かな人間性及び高い倫理観を身に付けている。
- 4 変動する社会のニーズや医療の進歩に対応できる能力、科学的根拠に基づいた知識・技術及び基礎的助産実践能力を身に付けている。
- 5 他職種と協働し、地域で生活している母子の健康に貢献できる能力を身に付けている。
- 6 生涯にわたり自己の資質の向上に努める能力と助産師としてのアイデンティティを身に付けている。

② カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)

助産学専攻科では、「基礎領域」、「実践領域」、「実践関連領域」の3つの柱で構成し、助産師に必要な基本的能力(コア・コンピテンシー)を倫理的感應力、マタニティケア能力、ウイメンズケア能力、専門的自律能力と位置づけ、これらの能力が修了時に修得できるように科目配置する。

- 1 「基礎領域」では、助産の対象である母子及びその家族について、人間、環境、社会の側面から理解するための科目や助産学を探究する科目を配置し、学生が自主的な学習意欲に基づいて学ぶ。学修課題への取組みと達成状況、レポート及び筆記試験によって総合的に評価する。
- 2 「実践領域」では、講義、学内演習、実習を通じて、妊娠婦と新生児とその家族を支援する助産の実践に必要な基本的な知識・技術を中心に学ぶ必修科目を配置する。
筆記試験のみでなく、演習課題への取組みと達成状況、レポート及び助産技術試験で評価する。
特に実習科目は、助産師として必要な基礎的助産実践能力を獲得するために重要な科目である。
「助産学実習Ⅰ」では、妊娠分娩助産期及び新生児期を継続して1事例受け持つ実習とするため、入学後早期から実習を開始し、病院及び助産所において継続した助産ケアについて学ぶ。
「助産学実習Ⅱ」では、分娩介助を中心に、病院において妊娠婦と新生児に対する助産実践につ

いて学ぶ。規則により正常な分娩を10例介助することが修了要件となっており、実習期間内に介助できない場合は補習実習を行う。

「助産学実習Ⅲ」では、病院及び助産所の助産管理、「助産学実習Ⅳ」では、ライフサイクル全般の女性への健康支援の実際について学ぶ。

実習科目については、実習施設の実習指導者の意見も得て、評価表に基づいて総合的・客観的に基礎的助産実践能力を評価する。

さらに、継続事例への関わりを事例研究としてまとめることで科学的思考能力を養い、評価表に基づき研究能力を評価する。

- 3 「実践関連領域」では、卒業後に卓越した助産実践能力を獲得することを目的として選択科目を配置する。

「総合ヘルスケア論」では、経験豊かな助産師により助産技術を学ぶ。

また、「母子保健活動論Ⅱ」では、国際的な母子保健活動の実際や民間団体による母子保健活動の講義から助産師に求められている課題や他職種との連携について学ぶ。

「助産学実習Ⅴ」では、地域で生活している母子の健康支援方法について学ぶ。

さらに、「新生児蘇生法講習会(専門コース)」の修了認定資格を得ることが可能となるよう、「新生児学・乳幼児学特論Ⅱ」では、新生児救急蘇生における助産師の役割について学ぶ。

③ アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れに関する方針)

- 1 看護学の基盤を有し、助産学を追究する姿勢をもっている人
- 2 自分の行動に責任を持ち、生命の誕生に真摯に向き合える人
- 3 助産師として、地域で生活している母子の健康に貢献することを目指す人

(6) 保健医療学研究科の基本理念・教育目的

① 基本理念

人々の健康と自立の支援を基本理念として、保健医療の分野においてより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、包括的な判断力と指導力を有する高度専門職業人を育成することにより、保健・医療・福祉が連携した質の高い総合的サービスを提供し、高度な専門知識を持ち、新規かつ独創的な研究成果を発信する研究能力を持つ教育者・研究者を育成することにより、地域の保健医療の質向上、人々の健康増進、ひいては、健康長寿社会の推進や次世代育成支援に寄与する。

② 教育目的

◇看護学専攻博士前期課程

次の能力を修得することを目的とする。

1. 看護実践経験と既存の理論を統合した看護実践能力の向上を目指し、より専門性、独創性を重視した新しい看護実践方法を開拓し、チーム医療の場でリーダーシップを発揮する能力
2. 地域の特性や変化する社会の要請に応じて、地域の保健・医療・福祉のニーズに対応した健康増進と次世代育成支援活動を計画・実行し、人々の「健康と自立」の支援に貢献できるとともに、地域の保健医療施策に提言する能力
3. 医療技術の高度化、保健・医療・福祉施設の多様化、在宅療養者の増加等、看護を取り巻く環境が大きく変化するなかで、多様な施設や地域社会において看護を有機的に機能させ、看護の質を高めることができる高度な管理能力

4. 優れた看護師、助産師、保健師の育成や社会人教育、また新しい看護実践方法の開拓など、看護学の発展に貢献できる教育・研究能力

◇看護学専攻博士後期課程

次の能力を修得することを目的とする

- 1 実践科学としての看護学の体系化に資する研究が展開できる能力
- 2 地域の保健・医療・福祉に貢献する看護実践モデルの開発研究ができる能力
- 3 看護の変革をめざして、組織内で政策提言できる能力
- 4 看護学の教育又は看護実践において、更新育成ができる能力

◇臨床検査学専攻博士前期課程

次の能力を修得することを目的とする。

1. 臨床検査学分野の特定の領域や遺伝子診断などの先進医療において、その専門性をこれまで以上に追究し、より高度な学術理論と実践能力をもってチーム医療の場で指導的役割を担う能力
2. 輸入感染症や新興・再興感染症への対応、生活習慣病の予防など、国際協力活動や地域の要請に応じた保健医療活動を展開する能力
3. 環境・食品などの健康科学分野における科学的な検証システムの開発など、人々の健康増進に貢献する能力
4. 優れた臨床検査技師の養成や社会人教育、また新しい検査技術や機器の開発など、臨床検査学の発展に貢献する教育・研究能力

◇臨床検査学専攻博士後期課程

臨床検査学の学術的基盤に基づいた高度な専門性と学際性とのバランスを図り、研究領域における教育・研究・実践の深化と発展を目指し、更にこれを科学的に究めて新規かつ独創的な研究成果を発信できる人材、すなわち、臨床検査学の高度な専門的能力と広範な専門知識、更に科学的検証能力を備えた人材を育成するため、以下の能力を修得することを目的とする。

1. これまでに構築してきた臨床検査学の学術的基盤を背景に、新しい臨床検査法や機器・試薬の開発など、臨床検査学の更なる発展に向けて国際的視野から貢献する能力を修得する。
2. 臨床検査に関する幅広い視野を有するとともに、保健医療分野において総合的な判断力と遂行力を備え、組織の発展・変革を推進する能力を修得する。
3. 地域に先駆的・創造的研究成果を積極的に公開し、県民の健康増進、疾病予防等に貢献できる能力を修得する。
4. 臨床検査学に関連する学問領域の教育者・研究者や医療界のみならず産業界の研究者との学術交流を深め、広い視野から見据えた臨床検査学の学術的研究に参画できる能力を修得する。

4 教育内容

(1) 保健医療学部

① 教養教育

教養教育は、専門分野の枠を超えて共通に求められる知識を得るとともに、人間としての在り方や生き方に關する高い倫理観と深い洞察力、さらには人々を取り巻く社会環境の変化に的確に対応できる能力を養うことを目的としている。

生命の尊重と豊かな人間性を養うための人文科学系科目、現代社会の諸問題や社会環境と人との関わり等を理解するための社会科学系科目、科学的思考に基づく問題解決の基礎となる自然系科目を設けている。

また、国際的視野をもって活動し、情報化社会にも対応できる人材の育成のために、外国語として英語と中国語を配置し、情報科学とコンピュータの基本操作を習得する科目を設けるほか、健康的な生活習慣に果たす運動の重要性を理解し、自らの健康管理とともに、地域の健康活動に貢献できる人材の育成を目指して健康科学科目を設けている。

総合科目として教養ゼミナールを設け、香川県の魅力を紹介するとともに、さまざまな考え方を紹介し、多様な価値観があることを伝えている。さらに、学問に対する基本的な考え方や姿勢を身につけるため、自ら選んだ問題を自ら調べ、整理し、発表する能力を育成している。

これらの教養教育科目は看護学科および臨床検査学科共通とし、両学科の学生が同時に学習することによって、互いの交流と理解を深め、将来の保健医療分野での連携・協働が可能となるような教育を目指している。

授業科目

看護学科

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

| | |
|-------|----------------------------------|
| 自然 | 物理学、化学、生物学 |
| 人間 | 教育学、心理学、哲学、健康科学、健康スポーツ、生命倫理、障がい論 |
| 社会 | 社会学、法学、経済学、史学、文化人類学、生活環境論、社会保障論 |
| 情報 | 情報リテラシー、看護情報学、保健統計 |
| 外 国 語 | 英語 I・II・III・IV、中国語 I・II |

臨床検査学科

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

| | |
|-------|-----------------------------|
| 人文科学 | 日本語表現法、哲学、史学、心理学、倫理学 |
| 社会科学 | 法学、教育学、社会学、経済学、文化人類学 |
| 自然科学 | 物理学、物理学実験、化学、化学実験、生物学、生物学実験 |
| 外 国 語 | 英語 I・II・III・IV、中国語 I・II |
| 情報科学 | 情報科学 I・II・演習 |
| 健康科学 | 健康科学、健康スポーツ |
| 総合科目 | 教養ゼミナール |

② 看護学科

看護学科では、人の尊厳の擁護と科学的思考力を中核とする看護実践能力を身につけ、看護専門職として地域の人々の健康で幸福な生活の実現に貢献する、自律性と創造性が發揮できる人材の育成を目指している。

＜基礎科目群＞では、看護学と看護実践に必要な医学関連知識を学ぶ。

＜看護専門科目群＞では、2年次までに「看護技術論」「看護過程論」「健康レベル別看護論」「地域・在宅看護論」で看護学の基礎を修得して、「看護学導入実習」「看護技術論実習」「看護過程論実習」で実践能力を身につける。3年次には、対象特性に応じた応用編として「発達段階別看護論」「メンタルヘルス看護論」を学び、各実習で実践能力を高める。4年次には、「在宅看護学実習」「健康レベル別看護論実習」「看護学総合実習」で、統合された看護実践能力の獲得を目指す。また、3年次から4年次における「看護学発展論」では、個々の学生の課題や志向に応じて科目が選択できる。さらに、1年次から卒業時までに「看護ゼミナール・看護研究」を継続的に学ぶことで、自律性と創造性の獲得を目指す。

授業科目

(平成31年4月1日現在)

| 基礎科目群 | | 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、病理学概論 疾病と治療Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、臨床薬理、臨床栄養、医療とME機器 臨床心理学、臨床検査ラボラトリ |
|-------------------------------|--------------|--|
| 看護専門科目群 | 看護学総論 | 看護学概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護教育、看護管理 |
| | 看護技術論 | 看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、総合看護技術演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 看護過程論 | 看護過程論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ |
| | 健康レベル別看護論 | プライマリーヘルスケア、慢性期ケア、急性期ケア、リハビリテーション看護 緩和・エンドオブライフケア、健康レベル別看護技術演習 |
| | 発達段階別看護論 | 成人看護学概論、老年看護学Ⅰ・Ⅱ、母性看護学Ⅰ・Ⅱ、小児看護学Ⅰ・Ⅱ |
| | メンタルヘルス看護論 | 精神保健看護学Ⅰ・Ⅱ |
| | 地域・在宅看護論 | 地域看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、保健医療福祉行政論、疫学、在宅看護学Ⅰ・Ⅱ |
| | 看護学発展論 | 家族看護、がん看護、チーム医療、看護における代替療法、看護政策論 災害看護、看護職のメンタルヘルス、リプロダクティブ・ヘルス 異文化看護 |
| | 看護学実習 | 看護学導入実習、看護技術論実習、看護過程論実習 発達段階別看護論実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、メンタルヘルス看護論実習 在宅看護学実習、健康レベル別看護論実習、看護学総合実習 |
| | 看護ゼミナール・看護研究 | 看護研究方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護ゼミナールⅠ・Ⅱ、看護研究 |
| △：保健師教育課程を選択する場合において、履修が必要な科目 | | 公衆衛生看護論△ |
| △：保健師教育課程を選択する場合において、履修が必要な科目 | | 公衆衛生看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、公衆衛生看護学実習 |

△：保健師教育課程を選択する場合において、履修が必要な科目

③ 臨床検査学科

臨床検査は、科学の進歩とともに大きく発展し、医療の分野で中心的な役割を果たしている。本学では、臨床検査の総合的な実践能力を修得するため、臨床検査体験実習、基礎検査技術学演習をはじめ、多くの専門科目の実習や臨地実習を行っている。

また、医療の高度化・多様化に対応するため、先端医療技術学、遺伝子検査学、補助生殖医療技術学など、幅広い高度な技術を学習するとともに、保健・医療・福祉の分野で活躍できる基礎的能力を習得するため、環境・食品検査学、健康食品学、食品衛生学、薬理学、救急医学、チーム医療論、検診検査学、リスクマネジメントなどについても受講できる体制をとっている。

さらに、科学的思考力や課題解決能力を習得する目的で、教養ゼミ・専門ゼミ・卒業研究を通じて、少人数によるゼミ形式の教育を入学から卒業に至るまで一貫して行っている。

授業科目

(平成31年4月1日現在)

| | | |
|------------------|---------------|---|
| 専門基礎科目 | | 解剖学Ⅰ・Ⅱ、解剖学実習、生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学実習、生化学Ⅰ・Ⅱ 生化学実習、生命科学概論、微生物学、病理病態学、検査機器概論、薬理学 実験動物学演習、公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、食品衛生学、環境・食品検査学実習 社会福祉学、瀬戸内圏環境論、国際保健論、組織論、地域チーム医療論 医療統計学Ⅰ・Ⅱ、人間工学、医用電子工学、医用電子工学演習 医療情報処理学 |
| 専 門 科 目 | 分析検査学 | 臨床化学検査学、生体試料分析検査学、病態化学分析検査学 生体試料分析検査学実習、一般検査学、一般検査学実習、放射性同位元素学 分子生物学、分子生物学実習、臨床遺伝子検査学、臨床遺伝子検査学実習 生体防御検査学、高感度分析検査学、高感度分析検査学実習、輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習 |
| | 形態検査学 | 微生物検査学、細菌検査学実習、ウイルス・真菌検査学実習、医動物検査学演習 病理病態学演習、病理検査学、病理検査学実習、血液検査学Ⅰ・Ⅱ 血液検査学実習、顕微鏡技術論、写真技術論 |
| | 検査情報 解析検査学 | 生体画像情報検査学、生体制御機能検査学、生体機能検査学実習Ⅰ・Ⅱ 臨床医学Ⅰ・Ⅱ、病態生理機能検査学、病態代謝機能検査学 検査精度保証管理学、検査分析システム学、検査情報解析学 臨床検査管理運営学 |
| | 総合検査学 | 検査学概論、臨床検査学体験実習、基礎検査技術学演習、専門ゼミナール 臨床検査関係法規、先端医療技術学、医療安全管理学、検診検査学 救急医学概論、生殖補助医療技術論、リスクマネジメント、遺伝子分析科学 健康食品学、健康食品学関係法規、卒業研究 |
| | 臨地実習 | 臨床検査総論臨床実習、病理組織細胞学臨床実習、臨床生理検査学臨床実習 臨床化学検査学臨床実習、臨床血液検査学臨床実習、臨床微生物検査学臨床実習 臨床免疫検査学・輸血移植免疫検査学臨床実習 |

(2) 助産学専攻科

安全で質の高い助産ケアを提供するためには、助産師に「倫理的感応力」、「マタニティケア能力」、「ウィメンズヘルスケア能力」、「専門的自律能力」の4つの基本的能力（コア・コンピテンシー）が必要とされている。助産学専攻科では、これらの能力を修了時に獲得できるよう基礎領域、実践領域、実践関連領域の3領域の授業科目を配置している。

基礎領域では、助産の対象である母子およびその家族や地域について、人間、環境、社会の側面から理解するための科目や、助産学を探求する科目を設け、学生が自主的な学習意欲に基づいて選択履修できるようにしている。実践領域では、助産の実践に必要な基本的な知識・技術を習得するために講義、学内演習、実習を通じて学ぶ必修科目を配置している。実践関連領域では、卓越した助産技術や今日的課題を学ぶための選択科目を配置し、専門的能力の獲得を目指している。

香川県が認定した必修科目を履修することにより、助産師国家試験受験資格以外に受胎調節実地指導員の資格が得られるほか、選択する科目により新生児蘇生法講習会「専門コース」の修了認定を得ることができる。

授業科目

(平成31年4月1日現在)

| | |
|--------|---|
| 基礎領域 | 助産学概論、性と生殖の形態と機能、新生児学・乳幼児学特論Ⅰ 母子と家族の心理、女性と社会学、生殖生命倫理 |
| 実践領域 | 助産診断技術学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・演習、母子保健活動論Ⅰ、助産管理 助産学研究、助産学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ |
| 実践関連領域 | 総合ヘルスケア論、母子保健活動論Ⅱ、新生児学・乳幼児学特論Ⅱ 助産学実習Ⅴ |

(3) 保健医療学研究科

＜看護学専攻博士前期課程＞

看護学専攻は、研究コースと専門看護師コースの2コースで構成し、研究コースは基盤開発看護学、健康生活支援看護学、次世代育成看護学の3領域とした。専門看護師コースは精神看護からなる。

(1) 研究コース

- ① 基盤開発看護学領域では、看護の基盤となる技術・能力開発の観点から、安全で安楽なケア技術の科学的根拠の系統化や看護職が専門職として生涯にわたって成長発達し続け、その成果を実践に生かしや社会に貢献できる看護人材育成の体系化を探求する。
- ② 健康生活支援看護学領域では、健康増進の観点から、地域に暮らす住民、高齢者や精神的、身体的健康障害を有する人など様々な生活者とその家族並びに共同体などに対して、自律した生活能力と健康管理能力を育み、主体的な健康生活を支援する看護を探求する。
- ③ 次世代育成看護学領域では、次世代の育成を支援する観点から、周産期の妊娠・褥婦、親や家族の健康と子どもの発達支援、学童期・思春期からのヘルスプロモーション教育の実践及び乳幼児虐待予防など、育児に伴う様々な問題を考察、解決し、子育て支援の方法について探究する。

(2) 専門看護師コース

- ① 専門看護師コース（精神看護）では、対象のメンタルヘルスの向上の観点から、複雑で解決困難な問題や課題を持つ個人・家族・集団・コミュニティー、看護職などに対して、専門看護師の立場で対象のセルフコントロール能力の向上を支援する看護を探求する。本コース（精神看護）では、精神看護アセスメント論および精神看護セラピー・精神看護援助論などの知識と技術を統合し、精神看護専門看護師に必要な高度な実践能力を展開する方法について探究する。

(3) 看護学専攻としての専門共通科目

- ① 専門共通科目では、高度専門職業人あるいは教育・研究者として健康増進と次世代育成支援を推進し、保健・医療・福祉が統合した総合的サービスの提供に指導的立場で意欲的に取り組める看護師・保健師・助産師を育成することを目的に、「健康生活支援方法論」、「家族発達支援方法論」、「健康心理看護学特論」、「看護研究方法論」、「看護教育学特論」、「看護管学特論」、「看護コンサルテーション論」、「看護理論」、「看護倫理」を配置した。

＜看護学専攻博士後期課程＞

博士後期課程では、実践科学としての看護学に対する深い学識を持つ自律した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の実践の向上と変革に貢献できる教育者又は看護実践の組織的指導者を育成する。

看護学の専門領域は、地域包括ケアの推進に資する看護実践に役立つモデルの開発研究を目指し、「実践開発看護学領域」とする。研究の基盤的知識を養う「専門共通科目」、看護学特別研究につながる「専門科目」と「演習科目」、博士論文を完成させる「特別研究科目」の4つの科目で編成する。「専門科目」の特論、「演習科目」の特別演習の学修を体系的に履修するコースワークが、「特別研究科目」のリサーチワークに統合するように科目を配置した。授業は、人と論理的・対話的に議論することで、組織内で政策提言ができるリーダー能力の育成を意図した展開方法とする。

＜臨床検査学専攻博士前期課程＞

博士前期課程は、「病態機能検査学」と「病因解析検査学」の2領域からなり、人々の「健康と自立」の支援を基本理念とした高度専門職業人の養成を教育目標としている。

- (1) 病態機能検査学領域では、神経系、循環器、呼吸器、腎機能など種々の生理機能検査や病理学的・細胞学的検査に基づく病態の解析法について、より専門性を深め、病態を解析・診断するための臨床検査学を探究する。また、種々の生体機能と病態との関わりについても学問的関心を深め、新しい検査技術の開発や学問の発展に貢献するとともに、高度先進医療やチーム医療の場で指導的役割を果たすことができる能力を学修する。
- (2) 病因解析検査学領域では、病原微生物、生態防御に関わる免疫系、生体の代謝に重要な生化学的マーカー、遺伝子・染色体及びその関連物質等、病気を引き起こす要因について、より専門性を深め、病因を解析するための臨床検査学を探究する。また、新たな検査診断法を開発できるような研究能力と高い技術力を養い、この分野における学問の発展と高度先進医療に貢献できる高度専門職業人を養成する。さらに、これらの技術力を生かし、チーム医療、感染症対策、アレルギー対策、生活習慣病の予防など、地域の保健医療活動で指導的役割を担うことができる能力を学修する。
- (3) 環境・食品などの健康科学分野において、科学的な検証システムの構築などを通して人々の健康志向への対応や健康増進に貢献できる能力を学修するため、専攻共通科目として「健康増進科学論」を必修としたうえで、専門共通科目に「環境衛生論」と「食理学」を配置した。
- (4) 膨大な量の検査情報を効率よく管理し、病態解析や病因解析に有効に利用するための検査情報管理法や検査部の管理運営法についても専門性を深め、検査部門で管理指導的役割を果たすことができる能力を学修する目的で、専門共通科目に「検査総合管理学」と「医療情報管理学」を配置した。

＜臨床検査学専攻博士後期課程＞

博士後期課程では、博士前期課程における基本理念を発展的に深化、継承し、臨床検査学の高度な専門的能力と広範な専門知識、科学的検証能力、更に英語で研究成果を学界や社会に発信するグローバルな能力を備えた教育者・研究者の育成を目指すために、教育研究の柱は《病態機能検査学領域》と《病因解析検査学領域》の2領域とする。

それぞれの研究領域の研究対象として、病態機能検査学領域では、①さまざまな種類のがんに関する発がんメカニズム解明と病理組織検査や細胞診検査への応用、②食習慣に着眼した、食品に含まれる化学物質による神経変性疾患の予防や病態進行の抑制を目指した生化学的・生理学的研究、を含むものとし、病因解析検査学領域では、①細菌感染症の感染メカニズム解明と新たな感染防止策の考案、②様々な疾患の分子病態の解明に基づいた遺伝子関連検査法の問題点とその解決に向けた研究、を含むものとする。

授業科目 (看護学専攻 博士前期課程 研究コース) (平成31年4月1日現在)

| | | | |
|---------------------|--|------------------------------------|---------------------------------------|
| 専攻共通科目 | 健康増進科学論 疫学・統計学 | 保健医療福祉論 生命・医療倫理論 | チーム医療特論 英文文献講読 |
| 専門共通科目 | 健康心理看護学特論 看護理論 看護教育学特論 | 健康生活支援方法論 看護倫理 看護管理学討論 | 家族発達支援方法論 看護研究方法論 看護コンサルテーション論 |
| 基盤開発看護学 専門領域科目 | 看護人材育成学特論 看護技術学演習 | 看護人材育成学演習 看護技術学特論 | |
| 健康生活支援看護学 専門領域科目 | 地域精神看護学特論 公衆衛生看護学演習 老年看護学特論 在宅看護学演習 | 地域精神看護学演習 療養支援看護学特論 老年看護学演習 | 公衆衛生看護学特論 療養支援看護学演習 在宅看護学特論 |
| 次世代育成看護学 専門領域科目 | 育成支援看護学特論 子ども発達支援看護学演習 助産学実践学特論 | 育成支援看護学演習 女性健康看護学特論 助産学実践学演習 | 子ども発達支援看護学特論 女性健康看護学演習 助産学実践学演習 |
| 特別研究 | 看護学特別研究 | | |

授業科目 (看護学専攻 博士前期課程 専門看護師コース) (平成31年4月1日現在)

| | | | |
|---------------------|---|--|---------------------------------------|
| 専攻共通科目 | 健康増進科学論 疫学・統計学 | 保健医療福祉論 生命・医療倫理論 | チーム医療特論 英文文献講読 |
| 専門共通科目 | 健康心理看護学特論 看護理論 看護教育学特論 | 健康生活支援方法論 看護倫理 看護管理学討論 | 家族発達支援方法論 看護研究方法論 看護コンサルテーション論 |
| 基盤開発看護学 専門領域科目 | 看護人材育成学特論 看護技術学演習 | 看護人材育成学演習 看護技術学特論 | |
| 健康生活支援看護学 専門領域科目 | 地域精神看護学特論 公衆衛生看護学演習 老年看護学特論 在宅看護学演習 | 地域精神看護学演習 療養支援看護学特論 老年看護学演習 | 公衆衛生看護学特論 療養支援看護学演習 在宅看護学特論 |
| 次世代育成看護学 専門領域科目 | 育成支援看護学特論 子ども発達支援看護学演習 助産学実践学特論 | 育成支援看護学演習 女性健康看護学特論 助産学実践学演習 | 子ども発達支援看護学特論 女性健康看護学演習 助産学実践学演習 |
| 専門分野共通科目 | 精神保健医療福祉システム論 精神看護セラピー I 精神看護セラピー II 精神看護援助論 I | 精神看護アセスメント論 I 精神看護アセスメント論 II リエゾン精神看護論 精神看護援助論 II | |
| 実習科目 | 精神看護CNS役割実習 精神看護直接ケア実習 | | |
| 課題研究 | 課題研究 | | |

授業科目 (看護学専攻 博士後期課程) (平成31年4月1日現在)

| | | | |
|--------------------------|------------------------|---------------------------|------------|
| 専攻共通科目 | 看護理論学 | 看護学発展論 | 看護研究方法特論 |
| 専門科目 | 基盤看護科学特論 療養支援看護科学特論 | 地域在宅看護科学特論 次世代育成看護科学特論 | 精神保健看護科学特論 |
| 実験研究 領域 開拓 演習科目 | 実践開発看護学特別演習 | | |
| 特別研究科目 | 看護学特別研究 | | |

授業科目 (臨床検査学専攻 博士前期課程) (平成31年4月1日現在)

| | | | |
|-------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------|
| 専攻共通科目 | 健康増進科学論 疫学・統計学 | 保健医療福祉論 生命・医療倫理論 | チーム医療特論 英文文献講読 |
| 専門共通科目 | 検査総合管理学 食理学 | 医療情報管理学 検査研究方法論 | 環境衛生論 |
| 病態機能検査学 専門領域科目 | 生体機能検査学特論 病態解析検査学演習 血液病態検査学特論 | 生体機能検査学演習 病理病態検査学特論 血液病態検査学演習 | 病態解析検査学討論 病理病態検査学演習 |
| 病因解析検査学 専門領域科目 | 病原因子検査学特論 生体防御検査学演習 遺伝子検査学特論 | 病原因子検査学演習 生体科学検査学特論 遺伝子検査学演習 | 生体防御検査学特論 生体科学検査学演習 |
| 特別研究 | 臨床検査学特別研究 | | |

授業科目 (臨床検査学専攻 博士後期課程) (平成31年4月1日現在)

| | |
|-----------------|---|
| 専門共通科目 | 臨床検査学研究方法論 |
| 病態機能検査学 専門科目 | 病態機能検査学技術論 神経生理機能検査学技術論 |
| 病因解析検査学 専門科目 | 病原因子解析検査技術論 遺伝子検査技術論 |
| 特別研究 | 臨床検査特別研究 I 臨床検査特別研究 II 臨床検査特別研究 III |

(4) 実習施設

【保健医療学部】

① 看護学科 (文部科学省承認施設)

(平成31年4月1日現在)

| 臨地実習先 | 所在地 | 授業科目 |
|-------------------------------|---|--|
| 香川県立中央病院 | 高松市 | 基礎・成人・母性・地域連携看護学実習、総合実習、看護学導入・看護技術論実習 |
| 高松赤十字病院 | 高松市 | 基礎・成人・母性・小児・地域連携看護学実習、総合実習、看護学導入・看護技術論実習 |
| 高松訪問看護ステーション | 高松市 | 在宅看護学実習 |
| 訪問看護ステーションこくぶ | 高松市 | 在宅看護学実習 |
| 訪問看護ステーションどんぐり | 綾川町 | 在宅看護学実習 |
| 訪問看護ステーションかけはし | 高松市 | 在宅看護学実習 |
| 訪問看護ステーションQちゃん | 高松市 | 在宅看護学実習 |
| 訪問看護ステーションたきのみや | 綾川町 | 在宅看護学実習 |
| ゆりかごナースセンター | 高松市 | 在宅看護学実習 |
| 訪問看護ステーション福 | 高松市 | 在宅看護学実習 |
| 訪問看護ステーションなつめ | 高松市 | 在宅看護学実習 |
| 特別養護老人ホーム あじの里 | 高松市 | 老年看護学実習 |
| かがわ総合リハビリテーションセンター | 高松市 | 小児・老年看護学実習 |
| 香川県立丸亀病院 | 丸亀市 | 精神看護学実習 |
| 福栄なごみの会 | 東かがわ市 | 精神看護学実習 |
| 高松市立保育所(牟礼、田井、はらこども園、太田、鶴尾) | 高松市 | 小児看護学実習 |
| 光華幼稚園 | 高松市 | 小児看護学実習 |
| ぽっこ助産院 | 高松市 | 母性看護学実習 |
| 屋島総合病院 | 高松市 | 母性看護学実習 |
| 香川大学医学部附属病院 | 三木町 | 基礎・小児・成人看護学実習、看護学導入・看護技術論実習 |
| 香川県保健福祉事務所(小豆、東讃、中讃、西讃)及び管内市町 | (小豆) 小豆郡土庄町 (東讃) さぬき市 (中讃) 丸亀市 (西讃) 観音寺市 | 公衆衛生看護学実習 |
| 高松市保健所、保健センター、地域包括支援センター | 高松市 | 公衆衛生看護学実習 |

② 臨床検査学科

(平成31年4月1日現在)

| 臨地実習先 | 所在地 | 授業科目 |
|-------------|------|-------|
| 香川県立中央病院 | 高松市 | 各臨床実習 |
| 高松赤十字病院 | 高松市 | 各臨床実習 |
| 三豊総合病院 | 観音寺市 | 各臨床実習 |
| キナシ大林病院 | 高松市 | 各臨床実習 |
| 香川大学医学部附属病院 | 三木町 | 各臨床実習 |
| 高松市立みんなの病院 | 高松市 | 各臨床実習 |

【助産学専攻科】(文部科学省承認施設)

(平成31年4月1日現在)

| 臨地実習先 | 所在地 | 授業科目 |
|-------------|-----|-------|
| 香川県立中央病院 | 高松市 | 助産学実習 |
| 高松赤十字病院 | 高松市 | 助産学実習 |
| 香川大学医学部附属病院 | 三木町 | 助産学実習 |
| ぼっこ助産院 | 高松市 | 助産学実習 |
| 高松市保健センター | 高松市 | 助産学実習 |



令和元年度 学部・専攻科・大学院 学年曆

| 前 期 | | | | | | | 後 期 | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|--------------------------------------|---|----|----|----|----|----|----|----|-------------|---------------------------------------|
| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 行事 | | |
| 4 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 新入生オリエンテーション 4/3 入学式・在学生ガイダンス 4/4 | | 10 | | 2 | 3 | 4 | 5 | | | |
| | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 健康診断 4/10午後 | | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | | |
| | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | | | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 大学祭 10/19 | |
| | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | | | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 開学記念日 10/20 | |
| 5 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 | 3 | 4 | GW4/27～5/6 | | 11 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | |
| | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 内科検診(4年生・院生・専攻科生) 5/9 | | | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | |
| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 内科検診(3年生) 5/16 宿泊研修(1年生) 5/10～11 | | | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | |
| | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 内科検診(2年生) 5/23 | | | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | |
| 6 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 内科検診(1年生) 5/30 | | | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
| | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
| | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | | | | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | |
| | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | | | | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | |
| | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | | | | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 冬季休業 12/23～1/5 |
| 7 | 30 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | | 1 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 専攻科前期試験 7/8～7/17 | | | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | |
| | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 4年後期試験 1/14～1/27 専攻科後期試験 1/20～1/24 |
| | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | | | | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | |
| 8 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 臨検1年及び2・3年前期試験 7/31～8/13 | | 2 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | |
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 看護1年前期試験 8/5～8/13 | | | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 臨検1年及び2・3年後期試験 2/10～2/21 |
| | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 夏季休業 8/14～9/30 | | | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 看護1年後期試験 2/17～2/28 |
| | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | | | | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 卒業・修了判定結果掲示 (4年生・専攻科生) |
| | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | |
| 9 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 春季休業3/2～3/31 修了判定結果掲示(大学院生) |
| | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | | | | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 卒業式・修了式3/11(案) |
| | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | | | | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 進級判定結果掲示 (1～3年生) |
| | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | | | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | |
| | 29 | 30 | | | | | | | | | 29 | 30 | 31 | | | | | |

:土・日曜、休日
:休業日

5 教職員の状況

(1) 役職員

(令和元年5月1日現在)

| | |
|----------|--------|
| 学長 | 井伊 久美子 |
| 副学長 | 國方 弘子 |
| 研究科長 | |
| 学生部長 | 眞鍋 紀子 |
| 図書館長 | 平川 栄一郎 |
| 看護学科長 | 平木 民子 |
| 臨床検査学科長 | 奥田 潤 |
| 教養部長 | 加太 英明 |
| 専攻科長 | 野口 純子 |
| 看護学専攻長 | 高嶋 伸子 |
| 臨床検査学専攻長 | 中村 丈洋 |
| 事務局長 | 森岡 英司 |
| 事務局次長 | 西村 浩 |



(2) 教職員数

(令和元年5月1日現在、単位：人)

| 区分 | 学長・副学長 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 |
|--------|--------|----|-----|----|----|----|
| 学長 | 1 | | | | | 1 |
| 副学長 | 1 | | | | | 1 |
| 保健医療学部 | 看護学科 | 10 | 6 | 5 | 7 | 28 |
| | 臨床検査学科 | 6 | 2 | 2 | 4 | 14 |
| | 教養部 | 3 | | | 1 | 4 |
| 助産学専攻科 | | 1 | 1 | 1 | | 3 |
| 計(教員) | 2 | 20 | 9 | 8 | 12 | 51 |

| 区分 | 教授 | 特任教授 | 准教授 | 講師 | 計 |
|----------|------|------|-----|-----|--------|
| 保健医療学研究科 | [20] | 3 | [8] | [1] | 3 [29] |

| 区分 | 事務局長 | 事務局次長 | 副主幹 | 主任 | 主任主事 | 嘱託・臨時職員 | 計 |
|-----|------|-------|-----|----|------|---------|--------|
| 事務局 | 1 | 1 | 3 | 6 | 1 | (6) | 12 (6) |

| | |
|----|--------|
| 合計 | 66 (6) |
|----|--------|

※ 保健医療学研究科の[]内の人数は学部との兼務者であり、教授には副学長を含む。
事務局の()内の人数は定数外職員。

(3) 教員の研究内容

【学長・副学長】

| 領域 | 教員 | 研究内容 |
|-------|--------|--|
| 地域看護学 | 井伊 久美子 | 1. 地域包括ケア推進のための看護提供体制に関する研究 2. 公衆衛生看護活動方法論の構築に関する研究 |
| 精神看護学 | 國方 弘子 | 1. 認知行動療法を用いた看護介入に関する研究 2. メンタルヘルスに健康問題をもつ人のリカバリーに関する研究 3. さまざまな精神疾患患者またはその近親者や保健医療福祉サービスで働くスタッフの Quality of life に関する研究 |

【保健医療学部】

① 看護学科

| 領域 | 教員 | 研究内容 |
|-------|--------|---|
| 基礎看護学 | 平木 民子 | 1. 看護職者の能力開発に関する研究 2. 反省的看護実践に関する研究 |
| | 松村 千鶴 | 1. 看護技術が生体に及ぼす影響に関する研究 2. 簡便で効果的な清潔ケア技術の開発に関する研究 |
| | 堀 美紀子 | 1. 看護師の倫理的行動に関する研究 2. 基礎看護技術における教育方法と効果に関する研究 |
| | 小林 秋恵 | 1. 脳卒中患者の看護支援に関する研究 2. 多職種連携による看護実践に関する研究 |
| 成人看護学 | 近藤真紀子 | 1. 病いと共に生きる患者とその家族への支援に関する研究 2. ハンセン病と医療倫理に関する研究 3. 幼い子供をもつがん患者とその家族への支援に関する研究 4. 看護師のグリーフケアに関する研究 5. 看護実践の理論化・概念化に関する研究 |
| | 細原 正子 | 1. がん患者・家族への心理的支援に関する研究 2. 成人看護学教育に関する研究 |
| | 岩本 真紀 | 1. がんサバイバーのストレングスに関する研究 2. がんサバイバーへの意思決定支援に関する研究 |
| | 森田 公美子 | 1. 乳がん体験者と家族への看護支援に関する研究 2. 治療期にあるがん患者と家族への看護支援に関する研究 |
| | 岡西 幸恵 | 頭頸部がん患者の看護支援に関する研究 |
| | 新井 恵津子 | リンパ浮腫患者の看護支援に関する研究 |
| 母性看護学 | 松村 恵子 | 1. 母性意識の構造と発達に関する実証的研究 2. 助産師の専門的な生涯学習の動機づけと発達支援に関する研究 3. 子育て支援の方法に関する研究 ① 安全で安心の妊娠・出産・育児の環境づくりに関する研究 ② 乳幼児虐待予防や母親の育児ストレスの緩和、母乳育児等、子育てにおける文化的背景と性役割に関する研究 |
| | 塩田 敦子 | 1. 漢方療法の効果におけるエビデンスの検証 2. 看護基礎教育における漢方教育のありかた 3. 痛みをめぐる女性心身医学的研究 |
| | 木戸久美子 | 1. 障がいのある女性の周産期の援助に関する研究 2. 子育て支援に関する研究 3. 父親の産後うつに関する研究 4. 母性看護学および助産学分野における技術教育に関する研究 |

| | |
|-------|--|
| 植村 裕子 | 1. 女性の健康支援に関する研究 2. 子育て支援に関する研究 3. 母性看護学教育に関する研究 |
|-------|--|

| 領 域 | 教 員 | 研 究 内 容 |
|----------|--------|---|
| 小児看護学 | 舟越 和代 | 1. 障がい児とその家族の看護に関する研究 2. 小児看護学教育に関する研究 3. 子どもの健康行動と認識に関する研究 |
| | 三浦 浩美 | 1. 子どもの健康行動と病気の認識についての研究 2. 小児看護学教育に関する研究 3. 子育て支援についての研究 4. 子どもの感情表出と健康に関する研究 |
| | 松本 裕子 | 1. 先天代謝異常症の子どもとその家族に関する研究 2. 新生児マスクリーニングに関する研究 3. 小児看護学教育に関する研究 |
| 老年・在宅看護学 | 吉本 知恵 | 1. 高齢者の病院からの移行を支援する看護に関する研究 2. 認知症高齢者の支援に関する研究 3. 老年看護学教育に関する研究 |
| | 片山 陽子 | 1. エンド・オブ・ライフにおけるAdvance Care Planningに関する研究 2. 意思決定支援と合意形成に関する研究 3. 訪問看護の可視化に関する研究 4. 在宅ケアを実践する人材育成に関する研究 |
| | 三木 佳子 | 1. エキスパートナースの施療的会話に関する研究 2. セクショアリティ・アプローチ法の開発に関する研究 3. Inflammatory Bowel Disease患者の家族機能と家族支援に関する研究 |
| | 竹内 千夏 | 1. 脳卒中後遺症をもつ在宅療養高齢者の自尊感情に関する研究 2. 在宅移行期の看護支援に関する研究 |
| | 平井 智重子 | 1. 高齢者の健康支援に関する研究 2. 老年看護学教育に関する研究 |
| | 諫訪 亜季子 | 1. 重症児(者)と高齢者家族等の多重介護支援に関する研究 2. 就学前の難病や障害のある児とその家族への子育て支援に関する研究 |
| 精神看護学 | 土岐 弘美 | 1. 認知症を抱える人や家族の支援に関する研究 2. 精神の病を抱える人や家族の支援に関する研究 3. 看護職者のメンタルヘルスの支援に関する研究 |
| | 多田羅 光美 | 1. 精神障がい者の支援に関する研究 2. 精神科看護師の職務満足に関する研究 3. 精神科看護師の Quality of life に関する研究 |
| 地域看護学 | 高嶋 伸子 | 1. 保健師機能に関する研究 2. 健康増進計画策定・推進に関する研究 |
| | 辻 よしみ | 1. 保健医療サービスに関する研究 2. 保健師教育に関する研究 3. 地域診断における疫学活用に関する研究 |
| | 植原 千明 | 1. 保健師の地区活動に関する研究 2. 住民の自主グループ化支援に関する研究 |

② 臨床検査学科

| 領 域 | 教 員 | 研 究 内 容 |
|---------|-------|---|
| 情報解析検査学 | 樋本 尚志 | 1. 肝疾患における自己抗体の臨床的意義 2. 肝疾患における糖・脂質代謝異常と微量元素との関連 |

| | | |
|---------|--------|--|
| | 立石 謙也 | 1. 抗酸化物質に関する研究 2. 末期腎臓病および糖尿病における酸化ストレス評価法に関する研究 |
| 領 域 | 教 員 | 研 究 内 容 |
| 情報解析検査学 | 和田 晋一 | 1. 呼吸機能検査における新しい評価法の開発 2. 顔面神経麻痺における評価法の研究 3. 睡眠時無呼吸症候群における簡便なスクリーニング法の開発 |
| | 小河 佳織 | 1. 呼吸領域における新しい生体情報解析法の開発 2. 3D超音波を用いた胎児の機能に関する研究 |
| 形態検査学 | 平川 栄一郎 | 1. 癌の分子病理診断 2. 癌の浸潤と転移に関する分子機構の解析 |
| | 眞鍋 紀子 | 1. 血液細胞増殖・分化に関する研究 2. 血小板の活性、機能、および検査法に関する研究 3. 検査血液学の効果的教育法の確立 |
| | 奥田 潤 | 1. 日和見感染起因菌の内因性血液感染メカニズムの解析 2. タイプⅢ分泌機構に着眼した <i>Edwardsiella tarda</i> の病原機構の解明 3. 感染症検査キットの性能評価に関する研究 |
| | 末澤 千草 | 1. <i>Edwardsiella tarda</i> の病原性に関する研究 2. 日和見感染起因菌の病原性に関する研究 3. インフルエンザウイルスの迅速検出に関する研究 |
| | 山口 航 | 1. 血液細胞の活性、機能、および検査法に関する研究 2. 発達期における髓鞘形成 3. 検査血液学の効果的教育法の確立 |
| | 森西 起也 | 1. 癌の分子病理診断 2. 大腸癌における核内受容体を対象とした研究 |
| 分析検査学 | 中村 丈洋 | 1. 災害現場でも実施可能な簡易検査としての新しいバイオマーカーの開発 2. 新たなバイオマーカーとしてのマイクロ RNA の検索 3. 地域連携のための多職種を対象とした研修および教材の開発 |
| | 行正 信康 | 1. 抗原特異的免疫応答の差異に関する研究 2. 単球・マクロファージにおける免疫機能の多様性に関する研究 3. 新規B型肝炎ウイルス感染症関連検査の考案 |
| | 多田 達史 | 1. 糖尿病と動脈硬化に関する臨床的研究 2. 自動分析装置の臨床に関する研究 |
| | 太田 安彦 | 1. 好中球活性化機構の解明・病態との関連性、抗酸化物質の作用 2. 糖尿病患者における DPPIV 阻害剤の影響 |
| | 山崎 未来 | 1. エピゲノム情報に基づく新たなバイオマーカー開発 2. 母体のフルクトース摂取が次世代に及ぼす影響 |

(3)教養部

| 領 域 | 教 員 | 研 究 内 容 |
|------------|------------|---|
| 生命科学 | 加太 英明 | 1. 神經変性疾患における活性酸素の役割 2. 天然化学物質の生理活性 3. 環境化学物質の生体への影響 |
| 医学英語・人種遺伝学 | ジャンジュア ナジマ | 1. 医学における英語教育 2. 英語教科書の世界的比較研究 3. 日本人英語学習者における母語の干渉 4. 医学英語講義に使用する発音訓練手引きの開発 5. てんかん病における生化学的遺伝学的解析 |
| 解剖生理学 | 古山 達雄 | 1. 脈管形成における寿命関連遺伝子の関与 2. 神經新生における寿命関連遺伝子の関与 |

| | | |
|-------|-------|--|
| 解剖生理学 | 新美 健太 | 1. 脈管系の発達過程に関する形態的研究 2. 内皮細胞におけるフォークヘッド転写因子の生理学的機能の検討 3. 中枢神経系の発達過程に関する形態的研究 |
|-------|-------|--|

【助産学専攻科】

| 領域 | 教員 | 研究内容 |
|-----|--------|---|
| 助産学 | 野口 純子 | 1. 超音波検査と妊婦の健康生活支援に関する研究 2. 子育て支援に関する研究 3. 助産ケアの効果に関する研究 4. 助産学教育に関する研究 |
| | 竹内 美由紀 | 1. 助産師のキャリア発達支援に関する研究 2. 思春期に対する育児体験の有効性に関する研究 3. 助産ケアの効果に関する研究 4. 助産学教育に関する研究 |
| | 石原 留美 | 1. 梅毒の健康支援に関する研究 2. 子育て支援に関する研究 3. 性アイデンティティの生涯発達に関する研究 4. 助産学教育に関する研究 |

(4) 教員の研究業績

(期間: 平成30年4月～平成31年3月、単位: 件)

| 区分 | 学術論文等 | | | | | | | | | | 学会発表 | | | | 主催学会等 | 講演等 | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|----------|---------|---------|------|--------|------|--------|-------|-----|----|-----|
| | 著書[欧文] | 著書[和文] | 原著[欧文] | 原著[和文] | 総説[欧文] | 総説[和文] | 研究報告[欧文] | 研究報告[和文] | その他[欧文] | その他[和文] | 国際学会 | シンポジウム | 一般演題 | シンポジウム | 特別講演等 | | | |
| 看護学科 | 0 | 10 | 4 | 9 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 4 | 1 | 0 | 8 | 7 | 5 | 56 | 8 | 101 |
| 臨床検査学科 | 0 | 0 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 32 | 3 | 2 |
| 教養部 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| 助産学専攻科 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 1 | 18 |
| 合計 | 1 | 10 | 11 | 19 | 0 | 1 | 0 | 9 | 1 | 6 | 4 | 1 | 9 | 7 | 9 | 101 | 12 | 121 |

6 学生の状況

(1) 入学者選抜試験及び入学者の状況

| 年度 | 学科・研究科 | 試験区分 | 募集人員 (人以内) | 出願者数 (人) | 受験者数 (人) | 合格者数 (人) | 倍率 | 入学者数(人) | | | |
|--------|-------------|-----------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------|---------|-------|--------|-------|
| | | | | | | | | 県内 | 県外 | 計 | |
| 平成30年度 | 保健医療学部 | 看護学科 | 推薦 | 35 | 46(3) | 46(3) | 35(2) | 1.3 | 35(2) | 0(0) | 35(2) |
| | | | 一般(前) | 28 | 52(5) | 41(5) | 24(5) | 1.7 | 9(3) | 12(2) | 21(5) |
| | | | 一般(後) | 7 | 96(7) | 31(2) | 16(2) | 1.9 | 11(1) | 31(0) | 14(1) |
| | | 計 | 70 | 194(15) | 118(10) | 75(9) | 1.6 | 55(6) | 15(2) | 70(8) | |
| | 臨床検査学科 | 推薦 | 10 | 14(4) | 14(4) | 10(2) | 1.4 | 10(2) | 0(0) | 10(2) | |
| | | 一般 | 10 | 38(9) | 34(9) | 10(3) | 3.4 | 1(0) | 9(3) | 10(3) | |
| | | 計 | 20 | 52(13) | 48(13) | 20(5) | 2.4 | 11(2) | 9(3) | 20(5) | |
| | 合 計 | 推薦 | 45 | 60(7) | 60(7) | 45(4) | 1.3 | 45(4) | 0(0) | 45(4) | |
| | | 一般 | 45 | 186(21) | 106(16) | 50(10) | 2.1 | 21(4) | 24(5) | 45(9) | |
| | | 計 | 90 | 246(28) | 166(23) | 95(14) | 1.7 | 66(8) | 24(5) | 90(13) | |
| | 助産学専攻科 | | 10 | 23(0) | 23(0) | 10(0) | 2.3 | 7(0) | 3(0) | 10(0) | |
| | 看護学専攻(修士課程) | 一般選抜 社会人特別選抜 | 5 | 7(0) | 7(0) | 6(0) | 1.2 | 5(0) | 1(0) | 6(0) | |
| | | 臨床検査学専攻(博士前期課程) | 一般選抜 社会人選抜 | 3 | 4(2) | 4(2) | 4(2) | 1.0 | 3(1) | 1(1) | 4(2) |
| | | 臨床検査学専攻(博士後期課程) | 一般選抜 社会人選抜 | 2 | 1(0) | 1(0) | 1(0) | 1.0 | 1(0) | 0(0) | 1(0) |
| 平成31年度 | 保健医療学部 | 看護学科 | 推薦 | 35 | 46(4) | 46(4) | 35(1) | 1.3 | 35(1) | 0(0) | 35(1) |
| | | | 一般(前) | 28 | 43(6) | 41(5) | 30(3) | 1.4 | 15(3) | 9(0) | 24(3) |
| | | | 一般(後) | 7 | 108(12) | 27(4) | 14(2) | 1.9 | 6(0) | 7(2) | 13(2) |
| | | 計 | 70 | 197(22) | 114(13) | 79(6) | 1.4 | 56(4) | 16(2) | 72(6) | |
| | 臨床検査学科 | 推薦 | 10 | 24(4) | 24(4) | 10(1) | 2.4 | 10(1) | 0(0) | 10(1) | |
| | | 一般 | 10 | 32(7) | 30(7) | 11(2) | 2.7 | 2(1) | 8(1) | 10(2) | |
| | | 計 | 20 | 56(11) | 54(11) | 21(3) | 2.6 | 12(2) | 8(1) | 20(3) | |
| | 合 計 | 推薦 | 45 | 70(8) | 70(8) | 45(2) | 1.6 | 45(2) | 0(0) | 45(2) | |
| | | 一般 | 45 | 183(25) | 98(16) | 55(7) | 1.8 | 23(4) | 24(3) | 47(7) | |
| | | 計 | 90 | 253(33) | 168(24) | 100(9) | 1.7 | 68(6) | 24(3) | 92(9) | |
| | 助産学専攻科 | | 10 | 13(0) | 13(0) | 10(0) | 1.3 | 8(0) | 1(0) | 9(0) | |
| | 保健医療学研究科 | 看護学専攻(博士前期課程) | 一般選抜 社会人選抜 | 5 | 5(1) | 5(1) | 5(1) | 1.0 | 4(0) | 1(1) | 5(1) |
| | | 看護学専攻(博士後期課程) | 一般選抜 社会人選抜 | 2 | 5(1) | 5(1) | 2(1) | 2.5 | 0(0) | 2(1) | 2(1) |
| | | 臨床検査学専攻(博士前期課程) | 一般選抜 社会人選抜 | 3 | 1(1) | 1(1) | 1(1) | 0.3 | 1(0) | 0(0) | 1(1) |
| | | 臨床検査学専攻(博士後期課程) | 一般選抜 社会人選抜 | 2 | 1(1) | 1(1) | 1(1) | 0.5 | 0(0) | 1(1) | 1(1) |

※ () 内は男子学生(内数)。合格者数には追加合格者数を含む。



(2) 学部・専攻科・大学院在学生の状況

①学生定員及び在学生数

(令和元年5月1日現在)

| 区分 | 修業年限 | 入学定員 | 収容定員 | 学生数 | | | | | | |
|----------|-----------------|------|------|------|----|-----|-----|-----|-----|------|
| | | | | 区分 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 | |
| 保健医療学部 | 看護学科 | 4年 | 70人 | 280人 | 計 | 75人 | 68人 | 73人 | 64人 | 280人 |
| | | | | | 男 | 7人 | 7人 | 5人 | 3人 | 22人 |
| | | | | | 女 | 68人 | 61人 | 68人 | 61人 | 258人 |
| | 臨床検査学科 | 4年 | 20人 | 80人 | 計 | 20人 | 19人 | 20人 | 21人 | 80人 |
| | | | | | 男 | 3人 | 5人 | 6人 | 4人 | 18人 |
| | | | | | 女 | 17人 | 14人 | 14人 | 17人 | 62人 |
| | 合 計 | | 90人 | 360人 | 計 | 95人 | 87人 | 93人 | 85人 | 360人 |
| | | | | | 男 | 10人 | 12人 | 11人 | 7人 | 40人 |
| | | | | | 女 | 85人 | 75人 | 82人 | 78人 | 320人 |
| 保健医療学研究科 | 助産学専攻科 | 1年 | 10人 | 10人 | 計 | 9人 | | | | 9人 |
| | | | | | 女 | 9人 | | | | 9人 |
| | 保健医療学専攻(修士課程) | 2年 | 8人 | 16人 | 計 | | 2人 | | | 2人 |
| | | | | | 男 | | 0人 | | | 0人 |
| | | | | | 女 | | 2人 | | | 2人 |
| | 看護学専攻(博士前期課程) | 2年 | 5人 | 10人 | 計 | 5人 | 6人 | | | 11人 |
| | | | | | 男 | 1人 | 0人 | | | 1人 |
| | | | | | 女 | 4人 | 6人 | | | 10人 |
| | 看護学専攻(博士後期課程) | 3年 | 2人 | 6人 | 計 | 2人 | 0人 | 0人 | | 2人 |
| | | | | | 男 | 1人 | 0人 | | | 1人 |
| | | | | | 女 | 1人 | 0人 | | | 1人 |
| | 臨床検査学専攻(博士前期課程) | 2年 | 3人 | 6人 | 計 | 1人 | 3人 | | | 4人 |
| | | | | | 男 | 1人 | 2人 | | | 3人 |
| | | | | | 女 | 0人 | 1人 | | | 1人 |
| | 臨床検査学専攻(博士後期課程) | 3年 | 2人 | 6人 | 計 | 1人 | 1人 | 2人 | | 4人 |
| | | | | | 男 | 1人 | 0人 | 1人 | | 2人 |
| | | | | | 女 | 0人 | 1人 | 1人 | | 2人 |
| | 合 計 | | 20人 | 44人 | 計 | 9人 | 12人 | 2人 | | 23人 |
| | | | | | 男 | 4人 | 2人 | 1人 | | 7人 |
| | | | | | 女 | 5人 | 10人 | 1人 | | 16人 |

※ 保健医療学専攻(修士課程)は、平成29年度から学生募集停止。

②退学者の状況

| 学 科 | | 平成 29 年度 | | | | | 平成 30 年度 | | | | |
|--------|----------|----------|-----|-----|-----|----|----------|-----|-----|-----|----|
| | | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 計 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 計 |
| 学 部 | 看護学科 | 2人 | 2人 | 2人 | 0人 | 6人 | 2人 | 0人 | 0人 | 0人 | 2人 |
| | 臨床検査学科 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 1人 | 0人 | 0人 | 0人 | 1人 |
| | 助産学専攻科 | 0人 | | | | 0人 | 0人 | | | | 0人 |
| | 保健医療学研究科 | 1人 | 0人 | | | 0人 | 1人 | 1人 | 0人 | | 2人 |
| | 計 | 3人 | 2人 | 2人 | 0人 | 7人 | 4人 | 1人 | 0人 | 0人 | 5人 |

③休学者の状況

| 学 科 | | 平成 29 年度 | | | | | 平成 30 年度 | | | | |
|--------|----------|----------|-----|-----|-----|-----|----------|-----|-----|-----|----|
| | | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 計 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 計 |
| 学 部 | 看護学科 | 4人 | 2人 | 2人 | 0人 | 8人 | 3人 | 2人 | 2人 | 0人 | 7人 |
| | 臨床検査学科 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| | 助産学専攻科 | 0人 | | | | 0人 | 0人 | | | | 0人 |
| | 保健医療学研究科 | 1人 | 2人 | | | 3人 | 1人 | 1人 | | | 2人 |
| | 計 | 5人 | 2人 | 2人 | 0人 | 11人 | 4人 | 3人 | 2人 | 0人 | 9人 |

(3) 出身県別学部学生数(令和元年5月1日現在)

(単位:人)

| 区分 | 学部生人数 | 構成比 (%) |
|----|-------|---------|
| 県内 | 249 | 69.2 |
| 県外 | 111 | 30.8 |
| 計 | 360 | 100.0 |

(単位:人)

| 出身県 | 学部合計 |
|------|------|
| 北海道 | 3 |
| 山形県 | 1 |
| 神奈川県 | 1 |
| 愛知 | 1 |
| 茨城 | 1 |
| 岐阜県 | 1 |
| 静岡県 | 2 |
| 三重県 | 1 |
| 京都府 | 5 |
| 大阪府 | 2 |
| 兵庫県 | 22 |
| 和歌山県 | 8 |
| 島根県 | 3 |
| 岡山県 | 15 |
| 広島県 | 3 |
| 山口県 | 3 |
| 徳島県 | 20 |
| 香川県 | 249 |
| 愛媛県 | 7 |
| 高知県 | 5 |
| 大分県 | 2 |
| 宮崎県 | 1 |
| 沖縄県 | 4 |
| 合計 | 360 |

(4) 平成31年3月卒業生・修了生の進路

| 学科等 | | 看護学科 | | | 臨床検査学科 | 助産学専攻科 | 保健医療学 研究科 | 合計 |
|------|-----------------------|------|-----|-----|--------|--------|--------------|------|
| 職種 | | 看護師 | 保健師 | その他 | 臨床検査技師 | 助産師 | | |
| 県内 | 香川県、香川県立病院 | 12人 | 2人 | | | 1人 | | 15人 |
| | 市町、市町立病院 | | 4人 | | 4人 | 2人 | | 10人 |
| | 国、独立行政法人 | | | | | | | |
| | 大学附属病院 | 7人 | | | | 2人 | | 9人 |
| | 高松赤十字病院 | 3人 | | | 3人 | 1人 | | 7人 |
| | その他の病院、施設 | 1人 | | | 5人 | | | 6人 |
| | 小計 | 23人 | 6人 | | 12人 | 6人 | | 47人 |
| 県外 | 都道府県、都道府県立病院、地方独立行政法人 | 1人 | | | | | | 1人 |
| | 市町村、市町村立病院、地方独立行政法人 | 5人 | 3人 | | | 2人 | | 10人 |
| | 国、独立行政法人 | | | | | | | |
| | 大学附属病院 | 7人 | | | | 1人 | 2人 | 10人 |
| | 日本赤十字社関連施設 | 3人 | | | 1人 | | | 4人 |
| | その他の病院、施設等 | 8人 | | | 6人 | | | 14人 |
| | 小計 | 24人 | 3人 | | 7人 | 3人 | 2人 | 39人 |
| 計 | | 47人 | 9人 | | 19人 | 9人 | 2人 | 86人 |
| 現職継続 | | | | | | 1人 | 5人 | 6人 |
| 進学 | | | 7人 | | | | | 7人 |
| その他 | | | 2人 | | 1人 | | | 3人 |
| 合計 | | | 65人 | | 20人 | 10人 | 7人 | 102人 |

(5) 国家試験の合格状況

| 区分 | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | |
|--------|--------|------|--------|--------|------|--------|
| | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 |
| 看護師 | 69人 | 69人 | 100.0% | 65人 | 63人 | 96.9% |
| 保健師 | 20人 | 20人 | 100.0% | 18人 | 16人 | 88.9% |
| 助産師 | 10人 | 10人 | 100.0% | 10人 | 10人 | 100.0% |
| 臨床検査技師 | 18人 | 18人 | 100.0% | 20人 | 19人 | 95.0% |

(6) 奨学生の状況

【日本学生支援機構奨学生状況】

| | | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | |
|--------------------------------------|----|--------|-----|-----|------|--------|-----|-----|------|----|
| | | 1種 | 2種 | 併用 | 貸与計 | 1種 | 2種 | 併用 | 貸与計 | 給付 |
| 看護学科 | 1年 | 18人 | 10人 | 2人 | 30人 | 16人 | 7人 | 6人 | 29人 | 4人 |
| | 2年 | 14人 | 8人 | 1人 | 23人 | 18人 | 12人 | 1人 | 31人 | 0人 |
| | 3年 | 14人 | 15人 | 5人 | 34人 | 13人 | 8人 | 1人 | 22人 | 0人 |
| | 4年 | 14人 | 12人 | 1人 | 27人 | 13人 | 13人 | 4人 | 30人 | 0人 |
| 臨床検査学科 | 1年 | 2人 | 2人 | 1人 | 5人 | 4人 | 4人 | 0人 | 8人 | 0人 |
| | 2年 | 3人 | 1人 | 1人 | 5人 | 2人 | 2人 | 1人 | 5人 | 0人 |
| | 3年 | 5人 | 2人 | 2人 | 9人 | 3人 | 1人 | 1人 | 5人 | 0人 |
| | 4年 | 6人 | 3人 | 1人 | 10人 | 5人 | 2人 | 2人 | 9人 | 0人 |
| 助産学専攻科 | | 0人 | 0人 | 2人 | 2人 | 1人 | 1人 | 1人 | 3人 | 0人 |
| 学 研 究 科 保 健 医 療 | 1年 | 3人 | 0人 | 0人 | 3人 | 2人 | 0人 | 0人 | 2人 | 0人 |
| | 2年 | 2人 | 1人 | 0人 | 3人 | 2人 | 1人 | 0人 | 3人 | 0人 |
| 計 | | 81人 | 54人 | 16人 | 151人 | 79人 | 51人 | 17人 | 147人 | 4人 |

(7) 学生相談

学生相談室利用状況

施設の名称 : 学生相談室
 開室時間 : 予約制
 スタッフ : 臨床心理士 1名 (非常勤)
 年間相談延件数 : 平成29年度 25件
 平成30年度 19件

(8) 課外活動

① サークル活動

(令和元年5月現在)

| | | |
|-------------|---------------------|---|
| 学生団体名 | バレーボールサークル | バスケットボールサークル |
| | バドミントンサークル | ヨガサークル |
| | 茶道部 | アウトドアサークル |
| | 軽音楽サークル | EIES (English and international Exchange Society) |
| | 手話サークル | The☆ダンスサークル |
| | フットサルサークル | マンガ研究会 |
| | 吹奏楽サークル | テニスサークル |
| | 軟式野球サークル | 卓球サークル |
| | 香川県青年赤十字奉仕団サー クル | 写真部 |
| | 図書サークル(ビブリア) | セカンド・ハンド・ユース |
| | 災害医療サークル | 香川文化サークル |
| | ボルダリングサークル | ハンドメイドサークル |
| | 箏サークル | |
| 計 | 25団体 | |
| サークル登録延人数 | 358人 | |
| 後援会補助金額(予定) | 1,200,000円 | |



② ボランティア活動(平成30年度)

- ・ いいお産の日「体組成測定」
- ・ いのちの応援舎・おやこひろば運動会の手伝い
- ・ いのちの応援舎・夏祭 模擬店・ブース手伝い
- ・ 香川県立高松商業高等学校文化祭「育児体験」
- ・ 元気になろうDAY
- ・ さらスポーツクラブ「第8回みんな“笑顔”で運動会」
- ・ さらスポーツクラブ「未来ある子どもたちにゆめと希望の贈り物」
- ・ 小学生のための夏のサイエンスキャンプ
- ・ せとっ子の会スプリングキャンプ
- ・ はらこども園子育て支援センター「うたって楽しく親子ヨーガ」
- ・ はらこども園子育て支援センター「お母さんの健康を測定しよう！」
- ・ はらこども園子育て支援センター「ベビーマッサージ&ハンドマッサージ」
- ・ みのり保育園地域子育て支援センター「ベビーマッサージ&ハンドマッサージ」
- ・ むれコミュニティ祭
- ・ 牟礼地区小学校(牟礼小・牟礼南小・牟礼北小)ふるさとまつり「健康度測定・健康相談」

(以上「五十音順」)

③ その他

【大学祭】

平成30年度

- ・ 日 時 平成30年10月20日(土) 10:00~17:00
- ・ 会 場 本学中庭及び学舎
- ・ テ ー マ 繋(つながり)
- ・ 実行委員長 宮崎 朋子
- ・ 前夜祭 平成30年10月19日(金)

令和元年度

- ・ 日 時 令和元年10月19日(土) 10:00~17:00
- ・ 会 場 本学中庭及び学舎
- ・ テ ー マ 和(わ)
- ・ 実行委員長 上田 勢那
- ・ 前夜祭 令和元年10月18日(金)

【新入生宿泊研修】

平成30年度

- ・ 日 時 平成30年5月11日(金)~12日(土)
- ・ 場 所 琴平グランドホテル 紅梅亭

令和元年度

- ・ 日 時 令和元年5月10日(金)~11日(土)
- ・ 場 所 琴平グランドホテル 紅梅亭

7 図書館の状況

(1) 運営状況

- 開館時間：通常・・・9時～21時30分
土曜日・・・9時～13時
長期休業期間中など・・・9時～17時
- 休館日：日曜、長期休業期間中の土曜日、祝日、資料整理日、開学記念日(10月20日)、年末年始
- 閲覧室の面積：475 m²
- 座席数：閲覧席84席、視聴覚ブース6席
- 収納可能冊数：開架 4万冊
書庫 6万冊

(2) 図書館資料の整備状況

(平成30年度末現在)

| 区分 | 図書(冊) | | | | 雑誌(種) | | | 視聴覚資料 (点) |
|-----|-------|----|-------|--------|-------|-------|------------|--------------|
| | 和書 | 洋書 | 小計 | 蔵書合計 | 購入和雑誌 | 購入洋雑誌 | オンラインジャーナル | |
| 受入数 | 2,453 | 36 | 2,489 | 77,305 | 105 | 1 | 5 | 1,706 |

(3) 利用状況(平成30年度)

開館日数：265日

| 貸出冊数 | | | | 貸出人数 | | | |
|--------|--------|--------|---------|--------|------|------|--------|
| 学生 | 教職員 | 学外者 | 合計 | 学生 | 教職員 | 学外者 | 合計 |
| 7,807冊 | 1,861冊 | 1,325冊 | 10,993冊 | 3,731人 | 885人 | 763人 | 5,379人 |

| 相互利用 | | 参考調査 |
|------|-----|------|
| 依頼 | 受付 | |
| 294件 | 56件 | 712件 |

8 地域との連携・広報・情報公開

(1) 平成30年度地域連携推進センター事業

【地域住民交流事業】

①健康サポーター養成講座

○日時・場所 平成30年8月～11月 保健医療大学、香川県内全域

○内容 講義「ボランティア活動とは何か、ボランティア活動のための基本姿勢」ほか
健康課題をテーマにした企画・ポスター作成、発表
健康測定等フィールド活動

②いきいき健康広場

○日時・場所 平成30年8月27日(月)、11月29日(木) 保健医療大学

○内容 健康測定、健康相談

③ふるさとまつり

○日時・場所 平成30年11月18日(日) 牟礼地区小学校(3校)

○内容 健康測定、健康相談

④小学生のための夏のライフサイエンス教室

○日時・場所 平成30年8月4日(土)、9月1日(土) 保健医療大学

○内容 体験学習

第1回 Aコース「聴診器で身体の中のいろいろな音を聞いてみよう」

Bコース「ひかりと色と化学の不思議な関係」

第2回 「心(意思)を伝えるって?」

⑤すこやかコミュニティ

○日時・場所 平成31年2月27日(水) 保健医療大学、高松市牟礼コミュニティセンター

○内容 調査報告会、講演会

テーマ「地域住民が地域で交流する意味～そして、オープンダイアローグの可能性～」

「乳幼児に起こりやすいがんや病気に対する家庭での対処法」

【専門職支援事業】

①メンタルヘルス研修会

○日時・場所 平成30年9月26日(水)、平成31年2月27日(水) 保健医療大学

○内容 研修会、事例検討会

テーマ「ともに考える～ピアサポーター活動で感じたこと～」

「地域包括ケアに求められる精神科医療の役割とは」

②地域子育て支援研究会

○日時 平成30年5月10日(木)、6月8日(金)、7月13日(金)、9月14日(金)、
12月14日(金)、平成31年1月11日(金)、2月8日(金)、3月7日(木)

○場所 高松市はらこども園子育て支援センターにこにこキッズセンター

○内容 ミニ講座、子育て健康相談

③かがわ訪問看護学びあい塾

○日時・場所 平成31年3月1日(金) 保健医療大学

○内容 講演会 テーマ「男性介護者への支援」

(2) 平成30年度公開講座～テーマ『健やかに生きよう』～

【第1回】平成30年8月27日(月)

本学大講義室

| 講座内容 | 講師 | 参加者数 |
|--------------------------------|--------------|------|
| 地域のつながりの中で 大切な人の気持ちに気づく・支える | 准教授 辻 よしみ | 80人 |
| 活性酸素と健康 －食と生活習慣について－ | 教授 加太 英明 | |

| 講座内容 | 講師 | 参加者数 |
|--|-----------------------------|------|
| おうちに帰ろう ～病気とともにおうちに過ごすには～ 健康食品のウソとホント －健康食品を正しく利用するために－ | 講師 竹内 千夏 准教授 立石 謙也 | 64人 |
| | | |

(3) 施設開放

① 見学受け入れ

| | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 計 |
|--------|-----|-----|------|----|
| 平成29年度 | 0件 | 0件 | 7件 | 7件 |
| 平成30年度 | 0件 | 0件 | 4件 | 4件 |

② 施設貸出

| | テニスコート | グランド | 大講義室 | 一般講義室 | 体育館 |
|--------|--------|------|------|-------|-----|
| 平成29年度 | 0件 | 55件 | 1件 | 5件 | 2件 |
| 平成30年度 | 0件 | 83件 | 2件 | 5件 | 3件 |

③ 図書館学外者利用

| | 入館者数 | 貸出者数 | 貸出冊数 |
|--------|--------|------|--------|
| 平成29年度 | 943人 | 710人 | 1,214冊 |
| 平成30年度 | 1,124人 | 763人 | 1,325冊 |

(4) オープンキャンパス

○日 時 平成30年7月21日(土)12:30~16:30

○場 所 大講義室、各実習室ほか

○参加人員 373人(県内266人、県外107人)

《ミニオープンキャンパス》※大学祭併催

○日 時 平成30年10月19日(土)10:00~12:00

○場 所 中庭ほか

○参加人員 21人(県内15人、県外6人)

(5) 高校等への出張講座(平成30年度)(延べ人数)

高校等へ出向いた本学教員数 看護学科46人 臨床検査学科20人

(6) 委員等への就任及び講師等の派遣(平成30年度)

(延べ人回数)

| | 看護学科 | 臨床検査 学科 | 教養部 | 助産学 専攻科 | 学長・ 副学長 | 計 |
|------------------------------|------|------------|-----|------------|------------|----|
| 国・県・市町の審議会及び関係諸団体の委員・役員等への就任 | 30 | 4 | 0 | 4 | 7 | 45 |
| 講演・研修の講師等(非常勤講師は除く。) | 57 | 2 | 1 | 16 | 13 | 89 |

(7) 情報公開

① 情報公開条例に基づく情報公開請求

平成29年度請求 0件 平成30年度請求 0件

② 個人情報保護条例に基づく入学試験の口頭による開示請求

平成30年度入学試験 60件 平成31年度入学試験 73件

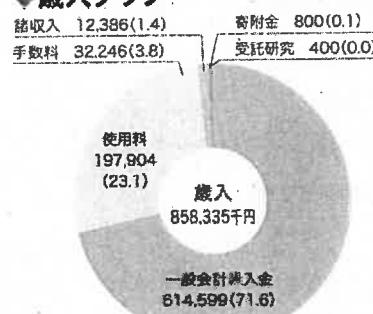
9 財務状況

(1) 令和元年度 歳入歳出予算

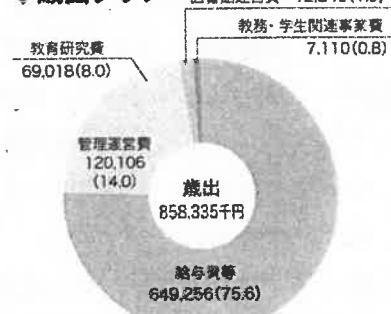
| 歳 入 | 科 目 等 | | 金 領 |
|---------|---------|-------------|------------|
| | 使 用 料 | 授業料等 | 197,904 千円 |
| | 手 数 料 | 入学選考料、入学会費等 | 32,246 千円 |
| | 寄 附 金 | | 800 千円 |
| | 諸 収 入 | | 12,386 千円 |
| | 受 託 研 究 | | 400 千円 |
| | 一般会計繰入金 | | 614,599 千円 |
| 歳 入 合 計 | | | 858,335 千円 |

| 歳 出 | 科 目 等 | | 金 領 |
|---------|-------------|--|------------|
| | 給 与 費 等 | | 649,256 千円 |
| | 管 理 運 営 費 | | 120,106 千円 |
| | 教 育 研 究 費 | | 69,018 千円 |
| | 図 書 館 運 営 費 | | 12,845 千円 |
| | 教務・学生関連事業費 | | 7,110 千円 |
| 歳 出 合 計 | | | 858,335 千円 |

◆歳入グラフ



◆歳出グラフ



(単位：千円、カッコ内は%)

(2) 外部資金の受け入れ状況

| 区 分 | 平成30年度 | | | |
|-----------|--------|-----|-----|----------|
| | 新規申請 | 採 択 | | |
| | | 新規 | 継続 | 金額 |
| 科学研究費助成事業 | 29件 | 5件 | 11件 | 21,840千円 |
| 奨学寄附金 | | | 8件 | 900千円 |
| 受託研究 | | | 1件 | 400千円 |
| 学外共同研究 | | | 3件 | 4,345千円 |

10 施設の状況

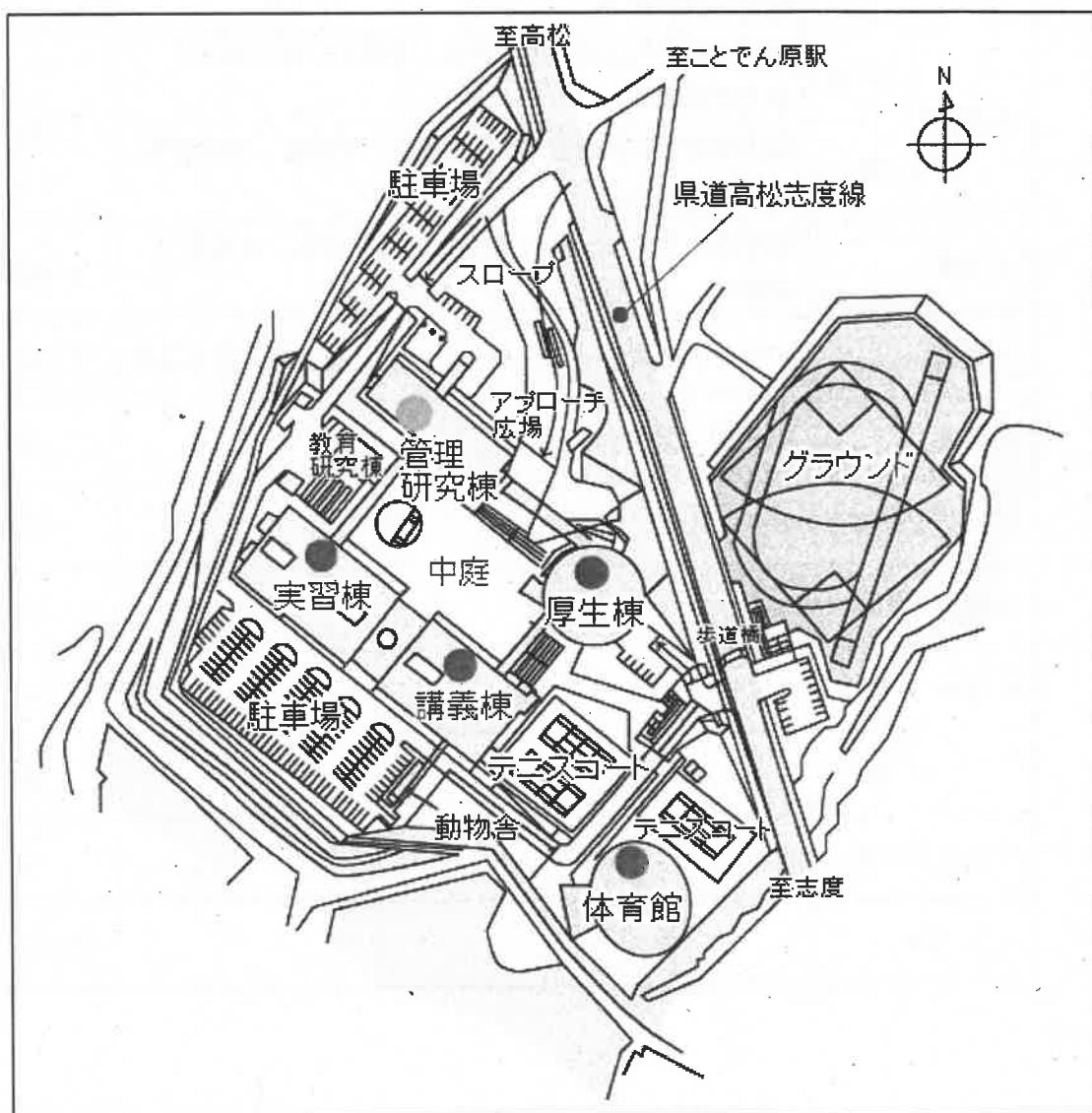
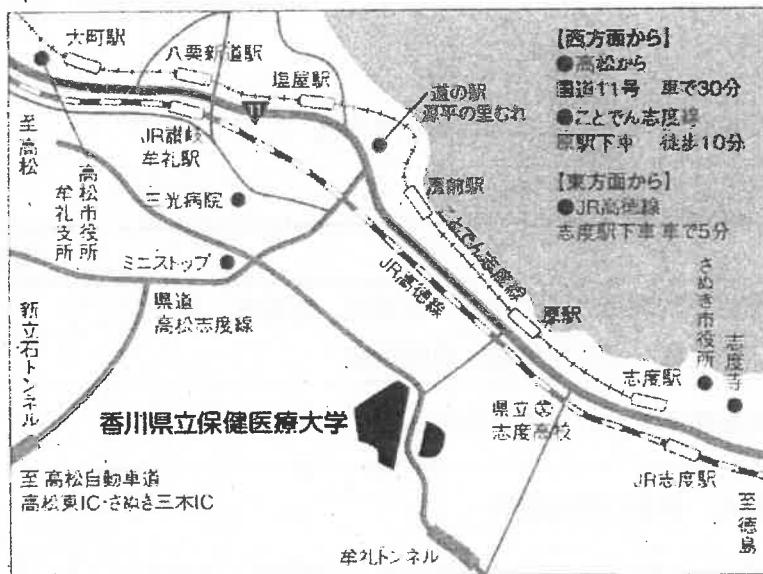
(1) 敷地面積

50,750.56 m² (校舎敷地 38,173.56 m²、運動場用地 12,577 m²)

(2) 建物

| 区分 | 用途 | | 面積 |
|--------|--|--------------------------------------|--------------------------|
| 管理研究棟 | 学長室、副学長室、研究室、事務室、会議室、講師控室、保健室、学生相談室、応接室等 | | 2,653.50 m ² |
| 教育研究棟 | 進路相談室、教材研究準備室、印刷室等 | | 243.90 m ² |
| 講義棟 | 1・2階 | 講義室、情報処理教室等 | 4,718.55 m ² |
| | 3階 | 大講義室、臨床検査学科研究室等 (実習室、準備室、顕微鏡観察室等) | |
| 実習棟 | 1・2階 | 看護学科研究室等 (実習室、準備室、展示室等)、学生更衣室 | 5,005.20 m ² |
| | 3階 | 臨床検査学科研究室等 (実習室、準備室、標本室等) 大学院生研究室 | |
| 厚生棟 | 図書館、学生ホール・食堂、サークル室、音楽室、和室等 | | 1,982.15 m ² |
| 体育館 | アリーナ、ステージ、シャワー室、更衣室、器具庫等 | | 1,168.05 m ² |
| 動物舎 | 飼育室、実験室等 | | 99.40 m ² |
| サークル室棟 | サークル室、倉庫等 | | 62.24 m ² |
| 車庫 | | | 54.42 m ² |
| 駐輪場 | | | 100.78 m ² |
| ゴミ置場 | | | 26.71 m ² |
| ガスボンベ庫 | | | 5.83 m ² |
| 計 | | | 16,120.73 m ² |

(3) 建物配置図



11.研究活動（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

2018年度研究業績（著書）

| 所属 | 研究者 | 書名・タイトル | 記述ページ | 原著名・編者 (訳本の場合) | 出版社 | 出版年月 |
|------|------------|---|----------------------|--|----------------------|----------|
| | | 〇〇〇〇 | P1-8 | 〇〇〇〇 | | 2019年4月 |
| 看護学科 | 三木佳子 | ラピッドスタディ 2019 第13版 | P166-197 | 法橋尚宏 | 有限会社 EDITEX | 2018年08月 |
| 看護学科 | 岡西幸恵 | ラピッドスタディ 2019 第13版 | P129-141 P298-322 | 法橋尚宏 | 有限会社 EDITEX | 2018年08月 |
| 看護学科 | 松村恵子 | 「新版」助産師業務要覧 2019年版 | P205-217 | 福井トシ子・編者 | 日本看護協会出版会 | 2019年1月 |
| 看護学科 | 片山陽子 | 看護実践にいかすエンド・オブ・ライフケア 第2版 | P249-254 | 長江弘子・編者 | 日本看護協会出版会 | 2018年6月 |
| 看護学科 | 片山陽子 | 生活と医療を統合する継続看護マネジメント 第2版 | P63-68 P80-85 | 長江弘子・編者 | 医歯薬出版株式会社 | 2018年7月 |
| 看護学科 | 片山陽子 | 訪問看護基本テキスト 各論編 | P613-622 | 柏木聖代他・編者 | 日本看護協会出版会 | 2018年12月 |
| 看護学科 | 片山陽子 | 老年看護学 概論と看護の実践 第6版 | P163-170 | 百瀬由美子・編者 | ヌーヴェルヒロカワ | 2019年1月 |
| 看護学科 | 土岐弘美 | ラピッドスタディ 2019 第13版 | 121-126 | 法橋尚宏 | 有限会社 EDITEX | 2018年08月 |
| 看護学科 | 土岐弘美 | ラピッドスタディ 2019 第13版 | 127-131 | 法橋尚宏 | 有限会社 EDITEX | 2018年08月 |
| 看護学科 | 竹内千夏 | ラピッドスタディ 2019 第13版 | P314-343 | 法橋尚宏 | 有限会社 EDITEX | 2018年08月 |
| 教養部 | ジャンジュア ナジマ | English for Specific Purposes: A Multidimensional Challenge. | P1-5 | Oral communication in healthcare: Aiming for intelligibility | FH TECHNIKUM WIEN | 2018年5月 |

2018年度研究業績（原著等）

| 所属 | 研究者 | タイトル | 掲載誌名 | 巻(号) | 記述ページ |
|--------|--|--|-------------------------|----------|-----------|
| 臨床検査学科 | 山口 航 | 学内実習可能な交差混合試験（クロスミキシング試験） | 臨床検査学教育 | 11(1) | P19-24 |
| 臨床検査学科 | Wataru Yamaguchi | Changes in L-arginine metabolism by Sema4D deficiency induces promotion of microglial proliferation in ischemic cortex. | Neuroscience | in press | |
| 臨床検査学科 | 行正 信康 | 子のFTO遺伝子(rs1558902、rs1121980) SNP型から確率計算により、親世代におけるSNP型別肥満率を推定する試案 | 保健医療福祉科学 | 8 | P32-39 |
| 看護学科 | 三木佳子 | 炎症性腸疾患患者の主観的セクシュアルウェルビーイングと属性別にみた特徴—テキストマイニングによる自由回答の分析— | 日本看護科学学会誌 | 38 | P.46-55 |
| 看護学科 | 三木佳子 | Actual conditions of sexuality and sexual perceptions among IBD patients in Japan | JMCRR | 1(2) | P1-7 |
| 看護学科 | 三木佳子 | The Correlation between Sexuality and Family Functioning among Patients with Inflammatory Bowel Disease in Japan (査読付き論文) | OJN | 8(10) | P717-730 |
| 臨床検査学科 | Takashi Himoto, Koji Fujita, Teppei Sakamoto, Takako Nomura, Asahiro Morishita, Hirohito Yoneyama, Reiji Haba, Tsutomu Masaki | Clinical efficacy of free androgen index, a surrogate hallmark of circulating free testosterone level, male patients with HCV-related chronic liver disease. | J Clin Biochem Nutr | 63(3) | 238-245 |
| 臨床検査学科 | Takashi Himoto, Eiichiro Hirakawa, Koji Fujita, Teppei Sakamoto, Takako Nomura, Asahiro Morishita, Hirohito Yoneyama, Reiji Haba, Tsutomu Masaki | Complement component 3 as a surrogate hallmark for metabolic abnormalities in patients with chronic hepatitis C | Ann Clin Lab Sci | 49(1) | 79-88 |
| 臨床検査学科 | Satoshi Tada, Shoichi Kanayama, Akemi Miyagawa, Koji Murao | Method for ABO Blood Group Testing Using a General-Purpose Automated Biochemical Analyzer | Clinical Laboratory | in press | |
| 臨床検査学科 | 樋本尚志 | C型慢性肝疾患患者におけるセレン欠乏症 | 健康365 | 4月号 | 26-27 |
| 臨床検査学科 | 樋本尚志 | C型慢性肝疾患患者における亜鉛およびセレン欠乏症 | 健康365 | 5月号 | 95-97 |
| 臨床検査学科 | 樋本尚志 | C型慢性肝疾患患者における亜鉛およびセレン欠乏症(2) | 健康365 | 7月号 | 60-61 |
| 臨床検査学科 | 樋本尚志 | C型慢性肝疾患患者における亜鉛およびセレン欠乏症(3) | 健康365 | 8月号 | 57-59 |
| 臨床検査学科 | Y Tokuhara, K Shyukuya, M Tanaka, K Sogabe, Y Ejima, S Hosokawa, H Ohsaki, T Morinishi, E Hirakawa, Y Yatami, T Shimosawa | Absorbance measurements of oxidation of homogentisic acid accelerated by the addition of alkaline solution with sodium hypochlorite pentahydrate | Scientific Reports | 8 | |
| 看護学科 | 榮 玲子, 植村 裕子, 松村 恵子, 塩田 敦子 | 母親の抑うつ傾向の推移とストレス対処能力との関連 | 香川母性衛生学会誌 | 18 (1) | 23-31 |
| 看護学科 | Yuko Uemura, Toshiyuki Yasui, Kimiyo Horiké, Kazuhisa Maeda, Hirokazu Uemura, Mari Haku, Reiko Sakae, Keiko Matsumura | Possible Predictive Factors for Low Back and Pelvic Pain at Three Months Postpartum Assessed in a Prospective Study from Early Pregnancy until the Postpartum Period | Open Journal of Nursing | 8 | 552-566 |
| 看護学科 | Yuko Uemura, Toshiyuki Yasui, Kimiyo Horiké, Kazuhisa Maeda, Hirokazu Uemura, Mari Haku, Reiko Sakae, Keiko Matsumura | Association of Low Back and Pelvic Pain with Mental Health Condition during Pregnancy and Postpartum | Health | 10 | 1650-1660 |
| 看護学科 | 松村恵子, 学外(藤田景子ほか) | 院内助産システムの方針と運用・管理の実態:質問紙を用いたインタビュー調査 | 日本助産学会誌 | 第32巻第2号 | P147-158 |

2018年度研究業績（学会発表）

| 所属 | 研究者 | 年度 | 国内・国際 | 発表タイトル | 集会等の名称 | 開催地 | 発表年月 |
|--------|--------------------------|------|-------|--|---|-------------------------|---------------|
| 臨床検査学科 | 末澤千草、安田 仁、 | 2018 | 国内学会 | 線維菌のdnAK遺伝子はCaco-2腸管上皮細胞層透過に関与する | 第66回日本化学会総会 | 岡山県岡山市 | 2018年6月 |
| 臨床検査学科 | 小村知央、尾島優志、猪野 権、安田 仁、 | 2018 | 国内学会 | 線維菌の糖鎖絆由内因性血液感染機構の解析～ヘトラジスボゾン挿入変異株ライブラリーケ用いたCaco-2細胞層透過関連遺伝子の探索～ | 第13回日本臨床検査学教育学会学術大会 | 北海道札幌市 | 2018年8月 |
| 臨床検査学科 | 尾島優志、猪野 権、小村知央、安田 仁、 | 2018 | 国内学会 | 線維菌の糖鎖絆由内因性血液感染機構の解析～II～解糖絆路間遺伝子に着目した線維菌のCaco-2細胞層透過機構の解析～ | 第13回日本臨床検査学教育学会学術大会 | 北海道札幌市 | 2018年8月 |
| 臨床検査学科 | 猪野 権、尾島優志、小村知央、安田 仁、 | 2018 | 国内学会 | 線維菌の糖鎖絆由内因性血液感染機構の解析～III～線毛関連遺伝子群に着目した線維菌のCaco-2細胞層透過機構の解析～ | 第13回日本臨床検査学教育学会学術大会 | 北海道札幌市 | 2018年8月 |
| 臨床検査学科 | 末澤千草、奥田 順 | 2018 | 国内学会 | Edwardsiella tardaの上皮細胞内侵入・増殖性解析 | 第71回日本細菌学会中国・四国支部総会 | 愛媛県松山市 | 2018年10月 |
| 臨床検査学科 | 小河 佳織 | 2018 | 国内学会 | 正中法ElectroneurographyによるENG値とCMAP潜時差との関連微分波形分析法を用いた單一CO2呼出曲線によるClosing Volumeの測定 | 第41回日本頭面神経学会 | 山形県山形市 | 2018年5月 |
| 臨床検査学科 | 小河 佳織 | 2018 | 国内学会 | 学内実習のための交差混合試験（クロスマッキング試験）疑似検体の作製～問題点の検討～ | 第51回中四国支部医学検査学会 | 高松市 | 2018年10月 |
| 臨床検査学科 | 山口 航 | 2018 | 国内学会 | 学内実習のための交差混合試験（クロスマッキング試験）疑似検体の作製～問題点の検討～ | 第13回日本臨床検査学学会学術大会 | 北海道札幌市 | 2018年8月 |
| 臨床検査学科 | 山口 航 | 2018 | 国内学会 | 学内実習のための交差混合試験（クロスマッキング試験）疑似検体の作製～問題点の検討～ | 第51回中四国支部医学検査学会 | 高松市 | 2018年10月 |
| 臨床検査学科 | 行正 信康 | 2018 | 国内学会 | 換美球のE.coliおよびP.gingivalis刺激におけるサイトカイン産生効果 | 日本臨床検査自動化学会第50回大会 | 神戸市 | 2018年10月 |
| 臨床検査学科 | 行正 信康 | 2018 | 国内学会 | 保健医系系大学の地域貢献として考慮した肥満関連遺伝子のSNP解析 | 第35回中四国臨床細胞遺伝学会研究会 | 倉敷市 | 2019年2月 |
| 看護学科 | 三木佳子 | 2018 | 国内学会 | WOCナースが実施するセクシュアリティの治療的会話 | 第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 | 北海道札幌 | 2018年5月 |
| 看護学科 | 三木佳子 | 2018 | 国際学会 | Actual Conditions and Environmental Factors of Sexuality among IBD Patients in Japan | 22th World Council of Enterostomal Therapists | KualaLumpur, Malaysia | April 2018 |
| 看護学科 | 三木佳子 | 2018 | 国際学会 | Elderly Care in Japan | International Elderly Care Conference 2018 | Saujana Putra, Malaysia | November 2018 |
| 看護学科 | 三木佳子 | 2018 | 国内学会 | 夫から介護を受ける女性高齢者の花咲く思い | 日本看護研究学会中国四国地方会 第32回学術集会 | 高松市 | 2019年03月 |
| 臨床検査学科 | Miyatake, Takashi Maeba, | 2018 | 国際学会 | Verification of sarcopenia in patients with nonalcoholic fatty liver disease | 40th ESPEN congress | Madrid, Spain | 2018年9月 |
| 臨床検査学科 | 伊藤直也、梅田一、 | 2018 | 国内学会 | 肥満性脂肪肝症候群における血清AIM値は肥満やインスリン抵抗性ではなく病期と相関する | 第55回日本消化器免疫学会総会 | 福岡市 | 2018年12月 |
| 臨床検査学科 | 铁平、野村真子、森下朝 | 2018 | 国内学会 | 男性C型慢性肝疾患患者におけるfree androgen indexの有用性について | 第18回日本Mes's Health医学会 | 東京 | 2018年7月 |

2018年度研究業績（主催学会・研究会）

| 所属 | 研究者 | 年度 | 学会・研究会名 | 開催地 | 発表年月 |
|--------|-------------------------|------|--|-----|--|
| 助産学専攻科 | 野口純子 | 2018 | 第19回香川母性衛生学会学術集会 (学術集会長) | 高松市 | 2018年12月 |
| 看護学科 | 國方弘子 | 2018 | 一般社団法人日本看護研究学会中 国・四国地方会 第32回学術集会 (実行委員長) | 高松市 | 2019年3月 |
| 臨床検査学科 | 多田 達史 | 2018 | 第29回生物試料分析学会学術集会 (プログラム委員長) | 岡山市 | 2019年2月 |
| 看護学科 | 松村千鶴 | 2018 | 第9回看護生理学研究会 | 岡山市 | 2019年2月 |
| 看護学科 | 片山陽子 | 2018 | 第2回日本エンドオブライフケア學 会学術集会(企画委員) | 東京都 | 2018年9月 |
| 臨床検査学科 | 立石謹也 | 2018 | 平成30年度第1回健康食品管理士会 四国支部総会・研修会(総会・研修 会長) | 高知市 | 2018年8月 |
| 臨床検査学科 | 立石謹也 | 2018 | 平成30年度第2回健康食品管理士会 四国支部研修会(研修会長) | 松山市 | 2018年12月 |
| 看護学科 | 辻よしみ | 2018 | 平成30年度香川環境保健福祉学会 | 高松市 | 2019年1月 |
| 看護学科 | 國方弘子(代表)、多田耀光 美(事務局) | 2018 | かがわメンタルヘルス研究会 | 高松市 | 2018年5月16 日、6月27日、7 月25日、9月26 日、11月29日、 2019年2月27 日、3月27日 |
| 看護学科 | 諏訪亞季子 | 2018 | 日本ルーラルナーシング学会第13 回学術集会(運営委員・総合司会) | 高松市 | 2018年11月 |
| 看護学科 | 松本裕子 | 2018 | 第11回香川小児保健協会研究会 | | 2018.2.3 |
| 看護学科 | 松本裕子 | 2018 | 香川母性衛生学会 | 保医大 | 2018.12 |

2018年度研究業績

(講演会等)

| 所属 | 研究者 | 研究会・研修会の名称 | 講演タイトル | 開催地 | 開催日 |
|--------|-------|--|----------------------------------|----------------------|-------------|
| 看護学科 | 三木佳子 | 第32回中国四国ストーマリハビリテーション研究会 | セクシュアリティを支援する一抵抗感を大切にする姿勢に変えるー | 広島県広島市 | 2108年6月23日 |
| 看護学科 | 三木佳子 | ストーマリハビリテーション講習会リーダーシップコース | セクシュアリティと女性性機能障害、性カウンセリングの実際 | 東京都狛江市 | 2018年07月28日 |
| 看護学科 | 三木佳子 | 四国ストーマリハビリテーション講習会 | 女性性機能障害とセクシュアリティ | 愛媛県東温市 | 2018年12月02日 |
| 臨床検査学科 | 多田 達史 | 三木町ケアマネージャ研修会 | 骨と健康食品の付き合い方 | 香川県三木町 | 2018年6月22日 |
| 看護学科 | 植村裕子 | いのちのせんせい | 「いのち」について中学生に伝えたいこと | 高松市立山田中学校 | 2018年11月30日 |
| 看護学科 | 植村裕子 | いのちのせんせい | 「いのち」について中学生に伝えたいこと | 高松市立吉高小学校 | 2019年1月18日 |
| 看護学科 | 植村裕子 | いのちのせんせい | 「いのち」について | 高松市立多肥小学校 | 2019年2月6日 |
| 看護学科 | 松村恵子 | 平成30年度 愛媛県看護協会 多施設合同新人助産師研修 | 助産師クリニカルラダーの基礎知識 | 松山市(愛媛県看護協会会 | 2018年7月28日 |
| 看護学科 | 松村恵子 | 平成30年度 高知県保育士会 保育講座 | 人間の心の在り方としての母性ー愛のまなざしが子の心育む | 高知県(佐川町総合文化センター) | 2018年9月1日 |
| 看護学科 | 松村恵子 | 平成30年度 高知県保育士会 保育講座 | 人間の心の在り方としての母性ー愛のまなざしが子の心育む | 高知市(こうち男女共同参画センター) | 2018年9月8日 |
| 看護学科 | 松村恵子 | 平成30年度 高知県保育士会 保育講座 | 人間の心の在り方としての母性ー愛のまなざしが子の心育む | 南国市(南国市立スポーツセンター) | 2018年9月15日 |
| 助产学専攻科 | 野口純子 | 公益社団法人日本看護協会 平成30年度 全国職能委員長会 | 助産師職能委員長に求められる役割 | 東京都千代田区(アルカ) | 2018年8月8日 |
| 助产学専攻科 | 野口純子 | 公益社団法人香川県看護協会 平成30年度新人助産師研修 | 新人助産師研修ガイダンス、ワークショップ～助産を語る～ | 高松市(香川県看護協会看護研修センター) | 2018年8月18日 |
| 助产学専攻科 | 野口純子 | 香川母性衛生学会「性の健康サポート事業」性教育講演会講師 | 大切なのちを未来に繋げるあなたたちへ～生まれる・生きる・育てる～ | 丸亀市(香川県立丸亀城西高等学校) | 2018年9月25日 |
| 助产学専攻科 | 野口純子 | 公益社団法人香川県看護協会 平成30年度香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会講師 | 助産師教育課程 | 高松市(香川県看護協会看護研修センター) | 2018年10月11日 |
| 看護学科 | 國方弘子 | 高松市保健センター 平成30年度うつ病家族教室 | うつ病の回復について | 高松市 | 2018年12月20日 |
| 看護学科 | 國方弘子 | 平成30年度 香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会 | 実習指導の実際、精神看護学実習講義・演習 | 高松市 | 2018年11月16日 |
| 看護学科 | 國方弘子 | 平成30年度 小豆地域精神障害者ピアサポート養成講座 | ピアサポートって何? | 小豆郡 | 2018年9月27日 |

2018年度研究業績（審議会
委員等）

| 所属 | 研究者 | 委員・役員等の名称 | 就任期間（日） |
|--------|-------|--|----------------|
| 看護学科 | 三木佳子 | 日本創傷オストミー失禁管理学会評議委員 | 2017年04月01日～現在 |
| 看護学科 | 三木佳子 | 日本ストーマ排泄リハビリテーション学会 | 2017年2月17日～現在 |
| 助産学専攻科 | 野口純子 | 公益社団法人日本看護協会 助産師職能委員 | 2017年6月～ |
| 助産学専攻科 | 野口純子 | 公益社団法人香川県看護協会 助産師職能理事・助産師職能委員長 | 2014年6月22日～ |
| 助産学専攻科 | 野口純子 | 香川県助産師出向支援・院内助産推進協議会委員 | 2018年4月1日～ |
| 看護学科 | 國方弘子 | 平成30年度香川県精神障害者地域移行・地域定着支援事業運営協議会委員 東讃地域精神障害者の地域移行・地域定着を考える会 | 2018年4月1日～ |
| 看護学科 | 國方弘子 | さぬき市地域福祉計画策定委員会委員長 | 2018年6月1日～ |
| 看護学科 | 國方弘子 | さぬき市地域福祉活動計画策定委員 | 2018年6月1日～ |
| 看護学科 | 松村恵子 | 高松市男女共同参画推進懇談会委員 | 2018年4月1日～ |
| 看護学科 | 松村恵子 | 香川県男女共同参画審議会委員 | 2018年4月1日～ |
| 看護学科 | 松村恵子 | 香川県助産師出向支援・院内助産推進協議会委員 | 2018年4月1日～ |
| 看護学科 | 松村恵子 | 日本助産学会代議員 | 2018年4月1日～ |
| 臨床検査学科 | 多田 達史 | 香川県精度管理専門委員 | 2018年4月1日～ |
| 臨床検査学科 | 多田 達史 | 生物試料分析科学会評議委員 | 2017年4月1日～ |
| 臨床検査学科 | 多田 達史 | 生物試料分析科学会中国四国支部理事 | 2013年4月1日～ |
| 臨床検査学科 | 多田 達史 | 香川県臨床検査技師会監事 | 2018年4月1日～ |
| 看護学科 | 土岐 弘美 | 高松市認知症徘徊ネットワーク会議委員 | 2018年04月～ |

2018年度研究業績・2018年度研究業績（科研費）

| 所属 | 研究者 | 年度 | 研究課題名 | 研究種目 | 新規・継続 | 交付金額 |
|--------|------------|------|--|----------|-------|-----------|
| 臨床検査学科 | 奥田 潤 | 2018 | タイプIII分泌機構に着眼した魚類エドワジエラ症原因細菌の病原機序の解明 | 基盤研究 (C) | 継続 | 1,560,000 |
| 看護学科 | 三木佳子 | 2018 | セクシュアリティ向上アプローチ法の開発に関する研究 | 基盤研究 (C) | 継続 | 2,410,000 |
| 臨床検査学科 | 橋本尚志 | 2018 | 経時的栄養介入による非アルコール性脂肪性肝疾患患者のサルコペニア改善効果 | 基盤研究 (C) | 継続 | 1,300,000 |
| 看護学科 | 樋村裕子 | 2018 | 妊娠期から育児期における腰痛とその関連要因に関する総合的検討 | 基盤研究 (C) | 継続 | 1,150,000 |
| 看護学科 | 國方弘子 | 2018 | 自尊心回復グループ認知行動看護療法の医療経済学的評価 | 基盤研究 (C) | 継続 | 1,170,000 |
| 看護学科 | 中平洋子 土岐弘美 | 2018 | 精神障がい者のFamily Resilienceを促すガイドラインの活用 | 基盤研究 (C) | 継続 | 315,303 |
| 看護学科 | 土岐弘美 | 2018 | 軽度認知症の人の自己コントロールを高める看護支援プログラムの開発 | 基盤研究 (C) | 新規 | 1,900,000 |
| 看護学科 | 松村千鶴 | 2018 | 化織タオルにおける生地表面の凹凸の違いが及ぼす清拭効果の検討 | 挑戦的萌芽研究 | 継続 | 289,838 |
| 看護学科 | 松村千鶴 | 2018 | 安全・快適・コストパフォーマンスを実現する清潔ケアキットの開発と推進戦略の構築 | 基盤研究 (C) | 新規 | 1,300,000 |
| 看護学科 | 片山陽子(分担) | 2018 | 訪問看護サービスを可視化する日本版オマハシステムの開発と検証 | 挑戦的萌芽研究 | 継続 | 65,000 |
| 看護学科 | 片山陽子(分担) | 2018 | 市民と専門職で協働する日本型対話促進ACP介入モデルの構築とエビデンスの確立 | 基盤研究 (A) | 継続 | 130,000 |
| 看護学科 | 片山陽子 | 2018 | 高齢者の尊厳ある死を目指す訪問看護師のターニングポイントの判断と実践の明確化 | 基盤研究 (C) | 新規 | 1,560,000 |
| 看護学科 | 塩田敦子、榮 玲子 | 2018 | 看護師教育における漢方教育のあり方—教材・教育手法の開発を含めて— | 基盤研究 (C) | 継続 | 4,550,000 |
| 看護学科 | 舟越和代 | 2018 | レスパイトケアを活用した障害児の生涯における自立支援プログラム | 基盤研究 (C) | 継続 | 1,438,633 |
| 看護学科 | 舟越和代(分担) | 2018 | 多機能病児保育による障害児レスパイトケアとネグレクト予防及び病児ケア教育の推進 | 基盤研究 (C) | 継続 | 10,000 |
| 看護学科 | 諫訪亜季子 | 2018 | 在宅で暮らす重症心身障害児(者)と高齢者家族等の介護を担う多重介護の全国実態調査 | 若手研究 (B) | 継続 | 2,080,000 |
| 教養部 | ジャンジュア ナジマ | 2018 | Toward minimizing L1 interference in Japanese healthcare professionals | 基盤研究 (C) | 継続 | 780,000 |

2018年度研究業績（その他助成金）

| 所属 | 研究者 | 年度 | 助成金の名称 | 区分 | 研究課題名 | 補助金額 |
|--------|------------------------|------|------------------------------|---------|--|------------|
| 臨床検査学科 | 奥田 潤 | 2018 | キヤノンメディカルシステムズとの学外共同研究 | その他の助成金 | 簡易分析装置の検査項目実現可能性及び性能評価に関する研究 | ¥2,000,000 |
| 臨床検査学科 | 奥田 潤 | 2018 | オサカ病院 | 奨学寄附金 | 香川県立保健医療大学における研究助成 | ¥50,000 |
| 臨床検査学科 | 多田 達史 | 2018 | キヤノンメディカルシステムズとの学外共同研究 | その他の助成金 | 簡易分析装置の検査項目実現可能性及び性能評価に関する研究 | ¥2,000,000 |
| 臨床検査学科 | 多田 達史 | 2018 | シノテスト | 奨学寄附金 | 香川県立保健医療大学における研究助成 | ¥200,000 |
| 臨床検査学科 | 樋本尚志 | 2018 | メディコ・コンスル | 奨学寄附金 | 慢性肝疾患における微量元素代謝異常 | ¥100,000 |
| 臨床検査学科 | 平川栄一郎 | 2018 | 四国細胞病理センター | その他の助成金 | 病理組織学的検索 | 400,000 |
| 看護学科 | 塩田 敦子 | 2018 | たけべ乳腺クリニック | 奨学寄附金 | 閉経前女性における乳がん術後 Tamoxifen療法中のホルモン動態—高エストロゲン血症発症の解析を含めて— | 300,000 |
| | 塩田 敦子 | 2018 | ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンターとの学外共同研究 | その他の助成金 | 生理痛ケア及び関連商品・サービスの研究 | 680,000 |
| 看護学科 | 梶原厚子 豊田ゆかり 枝川千鶴子 諏訪亞季子 | 2018 | 公益財団法人勇美記念財団 在宅医療研究への助成 | その他の助成金 | 医療的ケア児への相談支援機能をもつ訪問看護師育成にむけて 地域包括ケアを目指す教育プログラムの開発 | ¥890,000 |

2018年度研究業績（共同研究（学内））

| 所属 | 研究者 | 年度 | 研究題目 |
|------|--------------------------|------|--------------------------------|
| 看護学科 | 竹内千夏、片山陽子、辻よしみ、小林秋恵、岡西幸恵 | 2018 | 学生の主体的学修の概念構造の明確化 |
| 看護学科 | 小林秋恵、岩本真紀、三浦浩美、竹内千夏、平木民子 | 2018 | 初めての看護学臨地実習前の総合技術演習プログラムの設計と評価 |

2018年度研究業績（共同研究（学外））

| 所属 | 研究者 | 年度 | 研究題目 |
|--------|-------|------|--------------------------------|
| 臨床検査学科 | 奥田 潤 | 2018 | 簡易分析装置の検査項目実現可能性及び性能評価に関する研究 |
| 臨床検査学科 | 多田 達史 | 2018 | 簡易分析装置の検査項目実現可能性及び性能評価に関する研究 |
| 臨床検査学科 | 多田 達史 | 2018 | 日常生活における社会的ストレスおよびそれを形成する要因の解析 |
| 看護学科 | 塩田 敦子 | 2018 | 生理痛ケア研究及び関連商品・サービスの研究 |

2018年度研究業績（動物実験研究課題）

| 所属 | 研究者 | 年度 | 研究課題名 |
|--------|------|------|---------------------|
| 臨床検査学科 | 山口 航 | 2018 | Sema4DおよびF32分子の機能解析 |

2018年度研究業績（動物実験学生実習）

| 所属 | 研究者 | 年度 | 研究課題名 |
|-----|-----------|------|-------------|
| 教養部 | 加太英明、新美健太 | 2018 | マウス腹腔内臓器の観察 |

2018年度研究業績（学位取得）

| 所属 | 研究者 | 年度 | 取得学位名 |
|------|------|------|-------|
| 看護学科 | 植村裕子 | 2018 | 保健学 |

12. 管理運営

1) 教授会

【定例教授会】

| 回 | 日 時 | 審議事項 |
|----|------------------|--|
| 1 | 平成 30 年 4 月 4 日 | 1 退学及び休学について 2 既修得単位の認定について 3 学内委員会委員の選任について 4 共同研究の実施について |
| 2 | 平成 30 年 4 月 18 日 | 1 休学について 2 平成30年度非常勤講師（実習助手含む）について 3 平成30年度前期授業料の免除等について 4 保健医療大学施設等及び物品の既存時の取扱いについて 5 名誉教授の称号について |
| 3 | 平成 30 年 5 月 2 日 | 1 平成30年度非常勤講師（実習助手）について 2 平成31年度入学者選抜要項について 3 平成30年度前期授業料に係る納付猶予について 4 香川県立保健医療大学倫理審査委員会規程の改正について |
| 4 | 平成 30 年 5 月 16 日 | 1 平成30年度非常勤講師（臨地実習）への委嘱状の交付及び臨地教授等への称号授与について 2 共同研究の実施について |
| 5 | 平成 30 年 6 月 6 日 | 1 入学に当たり修得が望まれる知識等について 2 看護学科教員（教授又は准教授）の公募について 3 臨床検査学科教員（助教）の公募について 4 再任審査委員会について |
| 6 | 平成 30 年 6 月 20 日 | 1 入学に当たり修得が望まれる知識等について 2 平成30年度地域連携推進センター採択事業について |
| 7 | 平成 30 年 7 月 4 日 | 1 平成30年度非常勤講師について 2 平成31年度推薦入学試験実施要領について 3 平成31年度学生募集要項（推薦入試）について 4 平成31年度助産学専攻科入学者選抜方法等の概要について 5 平成31年度助産学専攻科入学試験実施要領について 6 平成31年度学生募集要項（助産学専攻科）について |
| 8 | 平成 30 年 7 月 18 日 | 1 看護学科教員（教授）の公募について 2 臨床検査学科（助教）の公募について |
| 9 | 平成 30 年 8 月 1 日 | 1 退学について 2 復学について 3 平成31年度一般入学試験実施要領について 4 平成31年度学生募集要項（一般入試）について |
| 10 | 平成 30 年 9 月 5 日 | 1 復学について |

| 回 | 日 時 | 審議事項 |
|----|-------------------|--|
| | | 2 看護学科教員（成人看護学・教授）の公募について 3 看護学科教員（成人看護学・准教授又は講師） 4 香川県立保健医療大学合否判定会議規程について 5 香川県立保健医療大学学生細則（学生証・現況届）の改正について 6 ミシシッピ大学との交流協定の締結について 7 共同研究の実施について |
| 11 | 平成 30 年 10 月 3 日 | 1 休学願について 2 平成30年度非常勤講師の委嘱について 3 平成30年度非常勤講師（実習補助）の委嘱について 4 臨床検査学科に係る教育課程の変更について 5 看護学科に係る教育課程の変更及び実習施設の追加に伴う承認申請について 6 看護学科教員（教授又は准教授）の公募について 7 教員の再任について |
| 12 | 平成 30 年 10 月 17 日 | 1 平成30年度後期授業料等の減免等について 2 香川県立保健医療大学図書館利用規定の改正について 3 香川県立保健医療大学図書館学外者利用要綱の改正について |
| 13 | 平成 30 年 11 月 7 日 | 1 平成31年度推薦入学試験について 2 平成31年度助産学専攻科入学試験について 3 臨床検査学科教員（助教）の公募について |
| 14 | 平成 30 年 11 月 21 日 | 1 学長賞選考に関する申し合わせ事項の改正について 2 平成30年度非常勤講師（演習補助）の委嘱について 3 災害時における学生の安否確認について 4 2019年度（2019年4月～2020年3月）入学試験実施計画について 5 香川県立保健医療大学倫理審査委員会規程の改正について |
| 15 | 平成 30 年 12 月 5 日 | 1 平成30年度非常勤講師の委嘱について 2 平成31年度推薦入学試験の合否判定について 3 平成31年度助産学専攻科入学試験の合否判定について 4 2021年度（2020年実施）からの大学入学者選抜者改革本学の方針について 5 教員（看護学科 成人看護学 教授）の選考について |
| 16 | 平成 30 年 12 月 19 日 | 1 教員（看護学科 成人看護学 教授）の選考について 2 教員（看護学科 成人看護学 准教授又は講師）の選考について 3 教員（看護学科 地域看護学・公衆衛生看護学 助教）の公募について |

| 回 | 日 時 | 審議事項 |
|----|------------|--|
| 17 | 平成31年1月9日 | 1 教員（看護学科 成人看護学 講師）の選考について 2 教員（看護学科 母性看護学外 教授又は准教授）の選考について |
| 18 | 平成31年1月23日 | 1 教員（看護学科 母性看護学外 教授）の選考について 2 学内規定の改正について 3 平成31年度非常勤講師の委嘱について 4 平成31年度学年歴について 5 単位互換科目（提供科目）について 6 テーチング・アシスタント配置希望科目について 7 2021年度（2020年度実施）からの大学入学者選抜改革について 8 教員（看護学科 地域看護学等 助教）の選考について |
| 19 | 平成31年2月6日 | 1 休学願について 2 平成31年度非常勤講師の委嘱について 3 卒業・修了判定について 4 学長賞について 5 一般入学試験（前期日程）について 6 一般入学試験（後期日程）について 7 2021年度（2020年度実施）からの大学入学者選抜改革について |
| 20 | 平成31年2月20日 | 1 臨床検査学科教員（臨床生理学 准教授又は講師）の公募について |
| 21 | 平成31年3月6日 | 1 一般入学試験（前期日程）の合否判定について 2 進級判定について 3 退学について 4 平成31年度非常勤講師（追加）について 5 平成31年度非常勤講師（実習補助）について 6 進級基準等の改正について 7 学則別表の改正について 8 保健師教育課程選択可能者の合否判定について 9 倫理審査委員会外部委員について |
| 22 | 平成31年3月19日 | 1 看護学科のカリキュラムポリシー及びディプロマポリシーについて 2 一般入学試験（後期日程）の合否判定について 3 学内委員会委員について 4 再任審査委員会委員について 5 共同研究の実施について 6 受託研究の受け入れについて |

2) 研究科委員会

【定例研究科委員会】

| 回 | 日 時 | 審議事項 |
|----|------------------|--|
| 1 | 平成 30 年 4 月 4 日 | 1 学内委員会委員及び研究科専門委員会の選任について |
| 2 | 平成 30 年 5 月 2 日 | 1 平成31年度入学者選抜方法等の概要について 2 平成31年度修士課程（看護学専攻）入学試験実施要領について 3 平成31年度博士前期課程（臨床検査学専攻）入学試験実施要領について 4 平成31年度博士後期課程（臨床検査学専攻）入学試験実施要領について |
| 3 | 平成 30 年 6 月 6 日 | 1 平成31年度学生募集要項（看護学専攻）について 2 平成31年度学生募集要項（臨床検査学専攻）について |
| 4 | 平成 30 年 7 月 4 日 | — |
| 5 | 平成 30 年 8 月 1 日 | 1 復学について |
| 6 | 平成 30 年 9 月 5 日 | 1 退学について 2 平成31年度大学院入学試験に係る出願資格審査について |
| 7 | 平成 30 年 10 月 3 日 | 1 平成31年度入学試験に係る合否判定について |
| 8 | 平成 30 年 11 月 7 日 | 1 平成30年度修士論文題目変更について 2 修土学位取得要項の改正について |
| 9 | 平成 30 年 12 月 5 日 | 1 平成30年度保健医療学研究科研究計画書について 2 修土学位取得要項（様式）の改正について 3 修士論文審査基準・修士論文発表会審査基準の改正について |
| 10 | 平成 31 年 1 月 9 日 | 1 平成31年度非常勤講師について 2 平成31年度博士後期課程（看護学専攻）入学試験について |
| 11 | 平成 31 年 2 月 6 日 | 1 平成31年度入学試験の合否判定について 2 看護学専攻博士後期課程設置に係る規程の改正等について 3 博士論文計画書について 4 平成30年度研究計画書について 5 平成30年度修士論文審査委員会委員について 6 ティーチング・アシスタントの募集について |
| 12 | 平成 31 年 3 月 6 日 | 1 退学について 2 休学について 3 修了判定について 4 看護学専攻博士後期課程の設置に係る規程の改正等について 5 ティーチング・アシスタントの配置について |

【臨時研究科委員会】

| 回 | 日 時 | 審議事項 |
|---|------------------|----------|
| 1 | 平成 30 年 4 月 18 日 | 1 休学について |

| | | |
|---|-------------------|--|
| | | 2 平成 30 年度研究指導教員及び修士論文題目等について 3 奨学金返還免除候補者の推薦について |
| 2 | 平成 30 年 10 月 17 日 | 1 平成 30 年度博士後期課程博士論文研究計画書に係る研究計画書審査委員の選出について |
| 3 | 平成 30 年 11 月 21 日 | 1 平成 31 年度香川県立保健医療大学大学院保健医療学研究科博士後期課程看護学専攻学生募集要項について 2 平成 31 年度香川県立保健医療大学大学院博士後期課程（看護学専攻）入学試験実施要領について 3 大学院出願資格審査関連規定の改正について 4 2019 年度（2019 年 4 月～2020 年 3 月）入学試験実施計画について |
| 4 | 平成 30 年 12 月 19 日 | 1 平成 30 年度保健医療学研究科研究計画書について |

3) 学内委員会

【総務企画委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|-------------------|---|
| 1 | 平成 30 年 8 月 8 日 | 1. 各委員会活動について 2. その他 |
| 2 | 平成 30 年 8 月 30 日 | 1. 香川県立保健医療大学合否判定会議規程について 2. 学生証及び現況届の様式の修正について 3. その他 |
| 3 | 平成 30 年 10 月 3 日 | 1. 看護学科カリキュラムポリシー及びディプロマポリシーの改正について 2. その他 |
| 4 | 平成 30 年 10 月 23 日 | 1. 教員の昇任人事の検討について 2. 各委員会活動について 3. その他 |
| 5 | 平成 31 年 1 月 17 日 | 1. 教員の昇任人事の検討について 2. 香川県立保健医療大学教員定年規程について 3. 各委員会活動について 4. その他 |
| 6 | 平成 31 年 2 月 15 日 | 1. 教員の昇任人事の検討について 2. 人事評価について 3. その他 |
| 7 | 平成 31 年 3 月 14 日 | 1. 看護学科のカリキュラムポリシー及びディプロマポリシーについて 2. その他 |

【毒劇物等・廃棄物専門委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|----------|---|
| 1 | 30年6月11日 | 1. 毒劇物等の管理委任簿の確認について 2. 毒劇物等の定期検査の実施について 3. 廃液等の処理について 4. 有害物質使用特定施設定期点検について |

【動物実験専門委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|----------|--|
| 1 | 30年7月4日 | 1. 動物実験に関する自己点検・評価報告書について 2. ホームページ掲載事項について |
| 2 | 31年1月10日 | 1. 動物実験計画書について |
| 3 | 31年3月4日 | 1. 動物実験計画書について |

【遺伝子組換え実験安全委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|----------|---------------------|
| 1 | 30年9月12日 | 1. 遺伝子組換え実験計画届出について |

【教務委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|------------|--|
| 1 | 平成30年4月12日 | 1. 年間計画について 2. 休学願について 3. 非常勤講師の委嘱について 4. 非常勤講師（実習助手）の委嘱について 5. 平成30年度前期履修届の状況について 6. 臨地実習に伴う臨地教授等の称号授与及び非常勤講師の委嘱について 7. 特別講義について 8. 学外での講義について |
| 2 | 平成30年5月14日 | 1. 臨地実習に伴う非常勤講師の委嘱及び臨地教授等の称号の授与について 2. 平成30年度の教務委員会の目的・目標・活動内容の設定 3. 特別講義について 4. 臨地実習「生物学実験」について 5. 「ウイルス・真菌検査学実習」における施設見学について 6. 看護学科カリキュラム（平成31年度入学生から適用）について |
| 3 | 平成30年6月28日 | 1. 平成30年度非常勤講師の委嘱（追加）について 2. 平成30年度前期履修変更届について 3. 平成31年度学年暦について |

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|-------------------|--|
| | | 4. 教育講演会について 5. 特別講義・授業支援について |
| 4 | 平成 30 年 7 月 26 日 | 1. 退学願について 2. 復学願について 3. 平成 30 年度後期履修届の提出状況について 4. 平成 31 年度非常勤講師への依頼について 5. 特別講義について 6. 学外見学について |
| 5 | 平成 30 年 8 月 24 日 | 1. 復学願について 2. 平成 30 年度前期試験について 3. 平成 30 年度後期履修届の提出状況等について 4. 平成 31 年度時間割案の学内調整期間について 5. 平成 31 年度シラバス・授業科目一覧表の作成について 6. 特別講義について 7. 学外見学について |
| 6 | 平成 30 年 9 月 26 日 | 1. 休学願について 2. 平成 30 年度非常勤講師の委嘱（追加）について 3. 平成 30 年度非常勤講師（演習補助）の委嘱（追加）について 4. 教育講演会について 5. 平成 31 年度シラバスについて 6. 平成 31 年度からの看護学科及び臨床検査学科カリキュラムについて |
| 7 | 平成 30 年 11 月 13 日 | 1. 平成 30 年度下半期教務関係スケジュールについて 2. 平成 30 年度非常勤講師（演習補助）の委嘱（追加）について 3. 平成 31 年度保健師教育課程選択可能者の選抜試験について 4. 教育講演会について 5. 特別講義について 6. 学外での演習について 7. 学生支援等配慮願（修学支援に関する配慮）への対応について 8. 学長賞選考に関する申し合わせ事項の改正について |
| 8 | 平成 30 年 12 月 11 日 | 1. 後期試験について 2. 試験監督実施手順について 3. 卒業・修了判定及び進級判定の日程について 4. 学長賞候補予備選考について 5. 平成 31 年度非常勤講師について（内諾状況報告） 6. 平成 31 年度年度始めのオリエンテーション日程について 7. 平成 31 年度単位互換科目・COCT 科目について 8. 特別講義について 9. 学外見学について |

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|----|------------------|--|
| 9 | 平成 31 年 1 月 11 日 | 1. 卒業式・修了式について 2. 2019 年度学年暦について 3. ティーチングアシスタント配置希望科目申請書について 4. 試験監督手順書等について 5. シラバスの授業科目表について 6. 2019 年度単位互換科目について 7. 健康食品管理士養成校認定更新申請について |
| 10 | 平成 31 年 2 月 6 日 | 1. 休学願について 2. 平成 31 年度単位互換の案内文について 3. 平成 31 年度非常勤講師の委嘱について 4. 卒業判定・修了判定について 5. 学長賞（成績優秀者本選考）について 6. 入学式（案）について 7. 平成 31 年度時間割（案）について 8. 平成 31 年度講義室予約について 9. 平成 31 年度前期履修手続等について 10. 平成 30 年度後期成績通知書の配付について |
| 11 | 平成 31 年 3 月 6 日 | 1. 退学願について 2. 平成 31 年度非常勤講師（追加）について 3. 平成 31 年度非常勤講師（実習助手）について 4. 進級判定について 5. 平成 31 年度単位互換（周知）について 6. 「進級基準等」の改正について 7. 学則の変更に係る国への届出について 8. 欠席届・公休願・追試験受験願に関する学生への周知内容について 9. 特別講義について |

【学生委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|------------------|---|
| 1 | 平成 30 年 4 月 13 日 | 1. 授業料減免について 2. 学生委員会年間計画について 3. 新入生歓迎会について 4. Link-toposについて |
| 2 | 平成 30 年 5 月 8 日 | 1. 年間計画について 2. サークルについて 3. 検討課題（学生の安否確認、私のアルバム）について 4. Linktopos と LiNX ! （サークル）について 5. 学生委員会と学生相談室との関わり方について |

| | | |
|----|-------------------|---|
| | | 6 学生・教員連絡会議について |
| 3 | 平成 30 年 8 月 9 日 | 1 大学の部活動における安全確保等について 2 Linktoposについて 3 学生の健康診断について 4 学生・教員連絡会議について 5 現況届の変更について 6 宿泊研修のアンケートについて |
| 4 | 平成 30 年 10 月 10 日 | 1 授業料減免について 2 教授会報告結果（現況届、学生証、学生の健康診断、学校医）について 3 大学祭について 4 Linktopos発表会について 5 学生のための研修会について 6 学生相談（前期）について 7 健康教育講座（香川県事業「初めての子宮がん検診応援事業」）について 8 学生・教員連絡会議について |
| 臨時 | 平成 30 年 11 月 7 日 | 1 学生の安否確認について |
| 5 | 平成 31 年 1 月 29 日 | 1 学生の安否確認訓練の結果報告について 2 卒業式・修了式関係について 3 平成 31 年度健康診断について |

【教務・学生合同委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|-----------------|------------------------------|
| 1 | 平成 31 年 2 月 6 日 | 1. 学長賞について 2. 卒業式・修了式について |

【入試委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|-------------|--|
| 1 | 4 月 12 日(木) | (1) 平成 30 年度の年間計画(案) (2) 平成 31 年度入学者選抜要項(看護学科、臨床検査学科) (3) 平成 31 年度大学院入学選抜方法の概要・募集要項の抜粋 (4) 大学院修士課程看護学専攻入学試験実施要領 (5) 大学院博士前期課程臨床検査学専攻 (6) 大学院博士後期課程臨床検査学専攻 (7) 入試問題作成に関する覚え書(平成 29 年度からの継続課題) (8) 入学にあたり修得を必須とする知識等 (平成 29 年度からの継続課題) |

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|-----------|---|
| | | (9) その他 |
| 2 | 5月17日(木) | (1) 大学院看護学専攻「学生募集要項」 (2) 大学院臨床検査学専攻「学生募集要項」 (3) 保健医療学部「入学にあたり修得を必須とする知識等」 (4) 入学試験の救護および採点確認の役割分担(案) (5) その他 |
| 3 | 6月27日(水) | (1) 推薦入学試験実施要領 (2) 推薦入学試験「学生募集要項」 (3) 助産学専攻科 選抜方法等の概要 (4) 助産学専攻科入学試験実施要領 (5) 助産学専攻科「学生募集要項」 (6) 入学試験に係るミスへの対応 (7) 本学の大学入学者選抜改革(案) ・基本方針、平成30年度内の計画(タイムスケジュール) (8) その他 |
| 4 | 7月18日(水) | (1) 一般入学試験実施要領 (2) 一般入学試験「学生募集要項」 (3) 大学入学者選抜改革(平成32年度、33年度)について (4) その他 |
| 5 | 8月21日(火) | (1) 大学院の入学試験について (2) 合否判定会議規程について (3) 大学入学者選抜改革について (4) その他 |
| 6 | 10月10日(水) | (1) 大学入学者選抜改革について (2) 平成31年度(11月17日)推薦入学試験の実施について (3) 平成31年度(11月24日)助産学専攻科入学試験の実施について (4) その他 |
| 7 | 11月16日(金) | 1.大学入学者選抜改革について 2.2019年度入学試験計画(案) 3.大学院出願資格規定等の改正(案) 4.博士後期課程看護学専攻入学試験実施要領 5.博士後期課程看護学専攻「学生募集要項」 6.その他 |
| 8 | 12月19日(水) | 1 博士後期課程看護学専攻入学試験説明会について 2 2020年度大学入学者選抜改革(案)について 3 2018年度大学院入学試験、推薦入学試験、助産学専攻科入学試験の評価と今後の課題 4 その他 |

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|---------|---------------------------------|
| 9 | 1月 29 日 | 1 一般入学試験(前期・後期)説明会について 2 その他 |

【図書委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|------------------|---|
| 1 | 平成 30 年 4 月 27 日 | 1. 平成30年度図書委員会・雑誌編集委員 目的、目標、活動内容について 2. 平成30年度図書委員会年間計画表（タイムスケジュール）について 3. 図書館収書方針について 4. 平成30年度選書方法について 5. 除籍資料の取り消しについて 6. コクランライブラリーについて 7. 平成30年度図書館開館カレンダーについて 8. 平成30年度図書館事務分掌について 9. 平成29年度決算・平成30年度予算について 10. 平成29年度後援会費で購入した図書館資料の内訳について 11. 平成29年度学外蔵者集計結果について 12. 平成29年度図書館利用に関するアンケート結果について 13. 平成29年度蔵書（閉架）点検作業結果報告 14. 図書館利用統計について 15. 図書サークルビブリアの昨年度活動状況について 16. 大学雑誌編集スケジュールについて 17. 原稿依頼先の決定について 18. 医中誌web著者抄録利用許諾について |
| 2 | 平成 30 年 6 月 6 日 | 1. 洋図書の購入について 2. コクランライブラリーについて 3. 中庭交流スペースの利用促進について 4. 平成30年度予算（図書・視聴覚資料購入費）について 5. 平成30年度図書館開館カレンダーの変更について 6. 蔵書点検について 7. 視聴覚資料・洋図書リクエストについて 8. 今年度の図書サークルビブリアの活動計画について 9. NII-REOについて 10. 図書館のシステム更新について 11. 大学雑誌第10巻について |

| | | |
|---|------------------|---|
| 3 | 平成 30 年 10 月 1 日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚資料・洋図書リクエストで希望のあった資料の購入について 2. 図書館利用規程第20条（2）（中庭交流スペースの飲食制限）改正について 3. 学外者利用要綱第8条（3）（就職・国家試験図書の貸出）の改正について 4. 藏書点検結果報告 5. 閉架図書の藏書点検日の変更について 6. 切抜分類表の改定について 7. 愛媛県立医療技術大学図書館との蔵書交換展示について 8. 橄欖祭での図書サークルビブリアの活動について 9. 日本看護研究学会中国四国地区学術集会での文献検索講座について 10. 看護図書館協会の研修担当について 11. 2019年1月～12月の洋雑誌（オンラインジャーナル、冊子体）について 12. コクランライブラリーについて 13. 2019年度和雑誌・新聞について 14. 2019年度データベースについて 15. 司書が参加したセミナーやシンポジウムの報告 16. 大学雑誌第10巻編集スケジュールについて 17. 大学雑誌査読者の決定について |
| 4 | 平成 30 年 12 月 4 日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館所蔵資料の除籍方針について 2. 平成31（2019）年度の図書費予算の大幅削減について 3. 漫画「はたらく細胞」（1～5巻）、「はたらく細菌」（1～3巻）の購入について 4. 平成29（2017）年分発行の雑誌（和・洋）の製本日程について 5. 閉架図書の蔵書点検日について 6. 利用者アンケートについて 7. 平成31（2019）年度図書館開館カレンダーについて 8. 平成31年度図書サークルビブリアの予算請求について 9. サンメディアへの大学雑誌複製利用許諾について 10. 和雑誌1誌の休刊、2誌の誌名変更と隔月刊化について 11. 司書が参加したセミナーやシンポジウムの報告 12. 大学雑誌第10巻の送付先について 13. 大学雑誌第10巻掲載順 14. 所属の表記について 15. 大学雑誌第10巻の体裁について |

| | | |
|---|-----------|--|
| | | 16. 白アリによる被害について 17. ガーデンパラソルについて |
| 5 | 平成31年2月8日 | 1. 図書館所蔵資料の除籍について 2. 平成31(2019)年度図書館開館カレンダーについて 3. 平成31(2019)年度購入和雑誌について 4. 図書館システム更新と3月末の図書館サービスについて 5. オンラインジャーナル「Journal of Nursing Research」(ovid) のフリージャーナル化について 6. 「香川県立保健医療大学雑誌」のメディカルオンラインへの掲載について 7. 第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム 8. 大学雑誌第10巻の進捗状況 9. 大学雑誌第10巻の体裁について |
| 6 | 平成31年3月8日 | 1. 図書館資料の除籍について 2. 平成31年(2019)年度開館カレンダーの修正について 3. 廃棄図書配布方法の詳細について 4. 図書館利用統計について 5. OPAC、文献書誌検索メニューURLの変更について 6. 購入和雑誌の休刊について 7. 図書サークルビブリアの活動報告 8. 大学雑誌第10巻の進捗状況 9. 平成30年度図書委員会・雑誌編集委員会活動の振り返りと今後の課題 10. 寄贈図書リストの照会について |

【情報ネットワーク委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|------------|---|
| 1 | 平成30年5月29日 | 1 図書館業務システムの更新について(再掲) 2 教務・学生システムの更新について 3 その他 |

【FD・SD委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|------------|--|
| 1 | 平成30年5月9日 | 1 FD・SD委員会の活動目的・目標・活動内容について(平成30・31年度2か年) 2 平成30年度FD・SDに関するSPOD企画について 3 本学独自のFD・SD活動について 4 授業評価について |
| 2 | 平成30年9月11日 | 1 平成30年9月11日(火)実施のFD・SD研修会について 2 授業評価について |

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|------------|--|
| | | 3 ティータイム教育サークルについて |
| 3 | 平成31年1月17日 | 1 平成31年2月12日(火)実施のティータイム教育サークルについて 2 平成31年度FD・SD講演会(SPOD内講師派遣プログラム)のテーマについて |

【広報・公開講座委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|-----------|---|
| 1 | 30年4月9日 | 1. 平成30年度広報計画及び年間行事予定表について 2. 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の開催計画について 3. オープンキャンパスの開催計画について 4. 公開講座の開催計画について |
| 2 | 30年5月10日 | 1. 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の開催計画について 2. オープンキャンパスの開催計画について 3. 公開講座の開催計画について |
| 3 | 30年6月18日 | 1. オープンキャンパスについて 2. ミニオープンキャンパスについて 3. 公開講座について 4. 大学広報誌について |
| 4 | 30年9月14日 | 1. 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の実施報告について 2. オープンキャンパスの実施報告及び改善事項(案)について 3. ミニオープンキャンパスについて 4. 第1回公開講座の実施報告について 5. 第2回公開講座について |
| 5 | 30年11月26日 | 1. ミニオープンキャンパスの実施報告について 2. 第1回公開講座の実施報告について 3. 大学広報誌について 4. 平成31年度広報計画について |
| 6 | 30年2月3日 | 1. 平成31年度広報計画について 2. 平成31年度行事日程について |

【研究委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|-------------------|---|
| 1 | 平成30年5月18日 (金) | 1 e-ラーニングについて 2 科学研究費助成事業について 3 学内研究報告会について |

| | | |
|--|--|--------------------------------|
| | | 4 今年度の活動目的・目標の明確化について 5 その他 |
|--|--|--------------------------------|

【国際交流委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 平成 30 年 4 月 24 日 (火) | 1. 2018 年度年度の委員会活動の目的・目標・活動内容等の設定について 2. 2018 年度年度南アルバータ工科大学から学生と教員の受け入れについて 3. アメリカの大学と国際交流協定締結について 4. 2017 年度/2018 年度報告会開催について 5. その他 |
| 2 | 平成 30 年 5 月 15 日 (火) | 1. 2018 年 7 月南アルバータ工科大学から学生と教員の受け入れ計画について 2. 公益社団法人セカンドハンドよりカンボジア保健衛生指導者育成プロジェクトへの支援依頼について 3. その他 |
| 3 | 平成 30 年 5 月 30 日 (水) | 1. 2018 年 7 月南アルバータ工科大学から学生と教員の受け入れ計画について 2. 公益社団法人セカンドハンドが主催するカンボジア保健衛生指導者育成プロジェクトへの支援について 3. ミシシッピ大学との国際交流協定締結について 4. その他 |
| 4 | 平成 30 年 6 月 15 日 (金) | 1. 2018 年 7 月南アルバータ工科大学から学生と教員の受け入れ計画について 2. 公益社団法人セカンドハンドが主催するカンボジア保健衛生指導者育成プロジェクトへの支援について 3. ミシシッピ大学との国際交流協定締結について 4. その他 |
| 5 | 平成 30 年 6 月 28 日 (木) | 1. 2018 年 7 月南アルバータ工科大学から学生と教員の受け入れ計画の最終確認 2. 公益社団法人セカンドハンドが実施するカンボジア保健衛生指導者育成プロジェクト支援報告 3. ミシシッピ大学との交流協定締結の検討 4. その他 |
| 6 | 平成 30 年 8 月 7 日 (火) | (1)2018 年度南アルバータ工科大学受け入れにおける反省について (2)2018 年度南アルバータ工科大学への留学募集について (3)ミシシッピ大学との国際交流協定締結について |

| | | |
|---|-------------------|--|
| | | (4)その他 |
| 7 | 平成30年9月26日 (水) | (1) 2018年度南アルバータ工科大学への留学募集について (2) 2018年度国際交流委員会報告会プログラムについて (3) ミシシッピ大学との交流協定締結について (4) ベトナムのビントゥアン医科大学との交流実施について (5) 公益社団法人セカンドハンドのカンボジア保健衛生指導者育成プロジェクト支援計画について (6) その他 |

【三大学連携推進委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|------------|---|
| 1 | 平成30年4月24日 | 1 平成30年度推進体制について 2 平成30年度計画について 3 その他 |

【進路指導委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|------------|---|
| 1 | 平成30年5月22日 | 1 平成30、31年度進路支援委員会活動について 2 平成30年度年間計画について 3 接遇研修報告 4 公務員試験対策講座について 5 県内就職促進の検討 6 卒業生進路動向調査について |
| 2 | 平成30年9月26日 | 1 研修報告 2 卒業生進路動向調査報告 3 進路支援ガイドについて 4 平成30年度進路状況（中間報告） |
| 3 | 平成31年2月27日 | 1 平成30年度年間計画実施状況と平成31年度計画について 2 平成30年度進路状況について |

【自己点検・評価委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|-----|---------|
| 1 | | 実績 無し |

【倫理審査委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|----------|--|
| 1 | 30年4月25日 | 1. 委員長及び副委員長の選任について 2. 倫理審査申請書の審査について |
| 2 | 30年5月23日 | 1. 倫理審査申請書の審査について 2. 外部委員への申請書の送付について |

| | | |
|---|-----------|--|
| | | 3. その他 |
| 3 | 30年7月25日 | 1. 倫理審査申請書の審査について 2. 外部委員に関するアンケート結果について |
| 4 | 30年11月14日 | 1. 倫理審査申請書の審査について 2. 委員等の守秘義務に関する規程改正案について 3. 来年度の日程について 4. その他 |
| 5 | 31年1月9日 | 1. 倫理審査申請書の審査について 2. 来年度の日程について |

【衛生委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|----|----------|---|
| 1 | 30年5月14日 | 1. 委員会の運営及び年間計画について 2. 職場巡視について 3. ヘルスアップセミナー講師派遣事業について |
| 2 | 30年5月 | 1. 職場巡視実施結果報告 |
| 3 | 30年6月 | 1. 職場巡視実施結果報告 |
| 4 | 30年7月 | 1. 職場巡視実施結果報告 |
| 5 | 30年7月23日 | 1. 衛生委員による職場巡視 |
| 6 | 30年8月 | 1. 職場巡視実施結果報告 |
| 7 | 30年9月 | 1. 職場巡視実施結果報告 |
| 8 | 30年9月12日 | 1. ヘルスアップセミナー |
| 9 | 30年10月 | 1. 職場巡視実施結果報告 |
| 10 | 30年11月 | 1. 職場巡視実施結果報告 |
| 11 | 30年12月 | 1. 職場巡視実施結果報告 |
| 12 | 31年1月 | 1. 職場巡視実施結果報告 |
| 13 | 31年2月 | 1. 職場巡視実施結果報告 |
| 14 | 31年3月11日 | 1. 健康診断結果について |
| 15 | 31年3月 | 1. 職場巡視実施結果報告 |

【防火等管理委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|-----------|--|
| 1 | 30年10月24日 | 1. 平成30年度防災訓練の実施内容について 2. 消防計画書について |

【地域連携推進センター運営委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|------------|---|
| 1 | 平成30年5月10日 | 1. 年間計画について 2. 事業計画（日程、人員配置等）について 3. 各実施要領等について |

| | | |
|---|-------------------|--|
| 2 | 平成 30 年 6 月 8 日 | 1 活動目的・目標・活動内容について 2 平成 30 年度事業の担当割当てについて 3 採択事業について 4 健康サポーター養成講座について 5 高齢者の居場所への学生等の派遣について |
| 3 | 平成 30 年 6 月 29 日 | 1 採択事業について 2 健康サポーター養成講座について 3 ライフサイエンス教室について |
| 4 | 平成 30 年 7 月 24 日 | 1 ライフサイエンス教室について 2 健康サポーター養成講座について 3 いきいき健康広場について |
| 5 | 平成 30 年 8 月 23 日 | 1 いきいき健康広場について 2 認知症サポーター養成講座について 3 第 2 回ライフサイエンス教室について |
| 6 | 平成 30 年 12 月 12 日 | 1 30 年度 事業報告及び課題について 2 31 年度 事業計画について |
| 7 | 平成 31 年 3 月 27 日 | 1 30 年度 事業報告について 2 31 年度 事業計画について |

【研究科専門委員会】

| 回 | 日 時 | 審議・報告事項 |
|---|-------------------|--|
| 1 | 平成 30 年 4 月 16 日 | 1. 平成 30 年度研究指導教員及び博士・修士論文題目について 2. 修士論文中間報告会の開催方法について 3. 休学届について |
| 2 | 平成 30 年 5 月 24 日 | 1. 特別研究と修士論文の審査及び最終試験の成績評価について 2. 両専攻修士課程における専攻共通科目について |
| 3 | 平成 30 年 7 月 25 日 | 1. 特別研究と修士論文の審査及び最終試験の成績評価について 2. 両専攻修士課程（博士前期課程）における専攻共通科目について 3. 復学について |
| 4 | 平成 30 年 8 月 22 日 | 1. 修士論文の審査及び最終試験の実施について 2. 退学について |
| 5 | 平成 30 年 11 月 1 日 | 1. 平成 30 年度修士論文題目変更について 2. 平成 31 年度大学院のシラバスについて 3. 平成 31 年度非常勤講師について 4. 平成 31 年度授業担当教員候補の推薦及び授業科目について 5. 修士学位取得要項の一部改正について |
| 6 | 平成 30 年 11 月 27 日 | 1. 修士論文題目変更 2. 修士学位取得要項の改正について 3. 修士論文審査基準・修士論文発表会審査基準の改正について 4. 平成 31 年度博士前期課程の授業科目について |

| | | |
|---|-------------------|---|
| | | 5. 平成 31 年度学年暦について |
| 7 | 平成 30 年 12 月 18 日 | 1. 看護学専攻博士後期課程設置に係る大学院学則及び規程等の改正等について |
| 8 | 平成 31 年 1 月 24 日 | 1. 看護学専攻博士後期課程設置に係る大学院学則及び規程等の改正等について 2. 博士前期課程の研究計画書の承認について 3. 平成 30 年度修士論文発表会（最終試験）実施要領について 4. 平成 30 年度保健医療学研究科修士論文審査会審査委員について 5. 平成 31 年度大学院保健医療学研究科行事予定について |
| 9 | 平成 31 年 2 月 20 日 | 1. 臨床検査学専攻博士後期課程学位取得プロセス等の改正について 2. 退学について 3. 休学について 4. 平成 31 年度新入生・在学生オリエンテーション等の日程について |